

資料名 PDFの目次（しおり）にて、資料名をクリックすると該当ページを閲覧できます。

1-2-2_教員の年齢別・性別内訳
1-3-1_教員組織と教育組織の対応表
1-3-2_規定上の開催頻度と前年度における開催実績一覧
1-3-3_規定上の開催頻度と前年度における開催実績一覧
2-1-1_内部質保証に係る責任体制等一覧
2-1-2_教育研究上の基本組織一覧
2-1-3_質保証について責任をもつ体制への構成員等の一覧
2-2-2_教育課程における評価の内容を規定する規定類一覧
2-2-3_自己点検・評価の実施時期、評価方法を規定する規定類一覧
2-2-4_意見聴取の実施時期、内容等一覧
2-2-5_検討、立案、提案の責任主体一覧
2-2-6_実施の責任主体一覧
2-3-1a_計画等の進捗状況一覧
2-5-1_教員の採用・昇任の状況(過去5年分)
2-5-2_教員業績評価の実施状況
2-5-3_評価結果に基づく取組
2-5-4_FDの内容・方法及び実施状況一覧
2-5-5_教育支援者、指導補助者（教育補助者）一覧
2-5-6a_教育支援者等に対する研修等内容・方法及び実施状況一覧
3-1-2_予算・決算の状況(過去5年間分)が分かる資料
3-2-2_法令遵守事項、危機管理体制等一覧
3-3-1_事務組織一覧
3-4-1_教職協働の状況
3-4-2a_SDの内容・方法及び実施状況一覧
3-6-1b_法令が定める教育研究活動等についての情報の公表状況一覧_改訂版
4-1-1_夜間の授業又は2以上のキャンパスでの教育の実施状況一覧
4-1-3_施設・設備の耐震化、バリアフリー化等の整備状況及び安全・防犯面への配慮状況
4-1-6_自主的学習環境整備状況一覧
4-2-1_相談・助言体制等一覧
4-2-2a_課外活動に係る支援状況一覧
4-2-3_留学生への生活支援の内容及び実施体制
4-2-4_障害のある学生等に対する生活支援の内容及び実施体制
4-2-5_経済的支援の整備状況、利用実績一覧
5-2-1_入学者選抜の方法一覧
6-4-4_教育上主要と認める授業科目
6-5-1_履修指導の実施状況
6-5-2_学習相談の実施状況
6-5-3_社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組
6-5-4_履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況

資料名

6-8-1_標準修業年限内の卒業（修了）率

6-8-2_就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（過去5年分）

認証評価共通基礎データ様式（令和6年3月改訂）【改正前基準】様式1

認証評価共通基礎データ様式（令和6年3月改訂）【改正前基準】様式2

基準 1-2 教育研究活動等の展開に必要な教員が適切に配置されていること

分析項目 1-2-2 教員の年齢及び性別の構成が、著しく偏っていないこと

【分析の手順】

・教育研究上の基本組織ごとに、教員の年齢及び性別の構成を職階別に確認する。

・教員の年齢別・性別内訳（別紙様式 1-2-2）

所属	職名	人数	内訳						
			性別		年齢				
			男性	女性	～34歳	35～ 44歳	45～ 54歳	55～ 64歳	65歳～
先端大学院先端学専攻	教授	372	334	38	0	11	127	226	8
	准教授	341	294	47	1	85	169	85	1
	講師	42	40	2	0	7	21	14	0
	助教	220	200	20	35	108	44	33	0
		0							
	計	975	868	107	36	211	361	358	9
	%		89.0%	11.0%	3.7%	21.6%	37.0%	36.7%	0.9%

※学部・研究科ごとに算出してください。

※算出にあたっては、認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式1の「教員組織」のデータと整合性をとってください。

別紙様式 1 - 3 - 1

基準 1 - 3 教育研究活動等を展開する上で、必要な運営体制が適切に整備され機能していること

分析項目 1 - 3 - 1 教員の組織的な役割分担の下で、教育研究に係る責任の所在が明確になっていること

【分析の手順】

- ・教員の所属する教員組織（学部・研究科等又は研究院等）及び学部・研究科等における教育の担当の状況について確認する。
- ・学部と大学院それぞれの教員組織における責任体制（学部であれば学部長、学科であれば学科長あるいは学科主任等）についても確認する。

・教員組織と教育組織の対応表（別紙様式 1 - 3 - 1）

教員組織	主に対応する教育組織		根拠資料
	学士課程	大学院課程	
先端学術院	該当なし	先端学術院先端学術専攻	国立大学法人総合研究大学院大学と大学共同利用機関法人及び国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構との関係協力に関する協定書 総合研究大学院大学学則第 19 条 総合研究大学院大学先端学術院組織運営規則

別紙様式 1 - 3 - 2

基準 1 - 3 教育研究活動等を展開する上で、必要な運営体制が適切に整備され機能していること

分析項目 1 - 3 - 2 教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っていること

【分析の手順】

- ・教授会等（教育活動に係る重要事項を審議するための組織）について、構成、責任体制及び審議事項、権限委任事項等を確認する。
- ・規定上の開催頻度と前年度における開催実績を確認する。

※教育活動に係る重要な審議事項とは、学校教育法第 93 条第 2 項に定めるものをいう。

- ・規定上の開催頻度と前年度における開催実績一覧（別紙様式 1 - 3 - 2）

会議等名称	規定上の開催頻度	前年度における開催実績
先端学術院教授会	規定なし(不定期)	2回
先端学術院代議員会	規定なし(原則として毎学期に2回開催)	5回
先端学術院文化科学領域教育会議	規定なし(原則として毎学期に2回開催)	3回
先端学術院数理情報科学領域教育会議	規定なし(原則として毎学期に2回開催)	4回
先端学術院物理科学領域教育会議	規定なし(原則として毎学期に2回開催)	4回
先端学術院生命科学領域教育会議	規定なし(原則として毎学期に2回開催)	4回
先端学術院先端学術専攻人類文化研究コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	13 回
先端学術院先端学術専攻国際日本研究コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	9 回
先端学術院先端学術専攻日本歴史研究コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	12 回
先端学術院先端学術専攻日本文学研究コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	13 回
先端学術院先端学術専攻日本語言語科学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	14 回
先端学術院先端学術専攻情報学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	10 回
先端学術院先端学術専攻統計科学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	12 回

会議等名称	規定上の開催頻度	前年度における開催実績
先端学術院先端学術専攻素粒子原子核コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	13 回
先端学術院先端学術専攻加速器科学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	11 回
先端学術院先端学術専攻天文科学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	13 回
先端学術院先端学術専攻核融合科学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	10 回
先端学術院先端学術専攻宇宙科学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	12 回
先端学術院先端学術専攻分子科学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	13 回
先端学術院先端学術専攻物質構造科学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	5回
先端学術院先端学術専攻総合地球環境学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	13 回
先端学術院先端学術専攻極域科学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	21 回
先端学術院先端学術専攻基礎生物学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	17 回
先端学術院先端学術専攻生理科学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	14 回
先端学術院先端学術専攻遺伝学コース委員会	規定なし(原則として毎月開催)	14 回
先端学術院先端学術専攻統合進化科学コース委員会	規定なし(原則として毎月 2 回開催)	31 回

基準 1-3 教育研究活動等を展開する上で、必要な運営体制が適切に整備され機能していること

分析項目 1-3-3 全学的見地から、学長若しくは副学長の下で教育研究活動について審議し又は実施する組織が機能していること

【分析の手順】

- ・教育研究活動について全学的に審議し又は実施する組織については、構成、責任体制及び審議事項、権限委任事項等を確認する。
- ・規定上の開催頻度と前年度における開催実績を確認する。

※教育研究活動について全学的に審議し又は実施する組織とは、教育研究評議会（国立大学）、教育研究審議機関（公立大学）、全学教務委員会、教育改革推進機構等を指す。

- ・規定上の開催頻度と前年度における開催実績一覧（別紙様式 1-3-3）

会議等名称	規定上の開催頻度	前年度における開催実績
役員会	規定なし（原則として毎月開催）	16回
教育研究評議会	規定なし（原則として年3～4回程度開催）	3回
運営会議	規定なし（原則として毎月開催）	12回
教務委員会	規定なし（原則として年3回程度開催）	3回

基準 2 - 1 【重点評価項目】内部質保証に係る体制が明確に規定されていること

分析項目 2 - 1 - 1 大学等の教育研究活動等の質及び学生の学習成果の水準について、継続的に維持、向上を図ることを目的とした全学的な体制（以下「機関別内部質保証体制」という。）を整備していること

【分析の手順】

- ・該当する体制に責任をもつ役職名（学長が最終的な責任者であるとして、とりわけ質保証に関して責任をもつ者）が定められていることを確認する。
- ・該当する体制において、教育研究活動等及び各教育課程について責任をもつ者（学部長や研究科長等。分析項目 2 - 1 - 2 との関連に留意）と上記責任者との情報共有の形態（委員会やセンターのような組織の名称と体制。複数の組織が共同して行う場合には複数の組織名称を記載）を確認する。

※内部質保証：「大学等が、自らの責任で自学の諸活動について点検・評価を行い、その結果を基に改革・改善に努め、それによってその質を自ら保証すること」（大学改革支援・学位授与機構『高等教育に関する質保証関係用語集第 5 版』）。

・内部質保証に係る責任体制等一覧（別紙様式 2 - 1 - 1）

確認すべき要素	大学における状況	根拠規定
(1) 中核となる委員会等の名称	評価委員会	国立大学法人総合研究大学院大学評価規則第 5 条 国立大学法人総合研究大学院大学評価委員会規程
(2) 統括責任者	学長	国立大学法人総合研究大学院大学評価規則第 4 条
(3) 自己点検・評価の責任者	大学評価を担当する理事	国立大学法人総合研究大学院大学評価規則第 4 条
(4) 改善・向上活動の責任者	大学評価を担当する理事 教育を担当する理事・副学長 先端学術院長 コース長	国立大学法人総合研究大学院大学評価規則第 4 条

確認すべき要素	大学における状況	根拠規定
(5) 委員会等の構成員	【評価委員会】 (1) 大学評価を担当する理事 (2) 教育を担当する理事・副学長 (3) 先端学術院長 (4) コース長 (5) 事務局長 (6) その他委員長が指名する者 若干名	国立大学法人総合研究大学院大学評価委員会規程第3条

※複数の組織が共同して行う場合には、相互の関係が根拠資料から分析可能であること。

基準 2 - 1 【重点評価項目】 内部質保証に係る体制が明確に規定されていること

分析項目 2 - 1 - 2 それぞれの教育研究上の基本組織が、教育課程について責任をもつように質保証の体制が整備されていること

【分析の手順】

- ・教育研究上の基本組織と教育課程との関係を確認する。
- ・共同教育課程、国際連携教育課程として設置された教育研究上の基本組織の場合は、当該教育課程に係る全体としての教育研究活動の状況を示す報告書を確認する。
- ・教育研究上の基本組織一覧（別紙様式 2 - 1 - 2）

組織番号	教育研究上の基本組織	組織等の長	教育課程	教育課程ごとの質保証の責任者	備考
01	先端学術院	先端学術院長	先端学術専攻	先端学術専攻長	

※ 教養教育を実施する組織が、学部や研究科と同様、その質保証に責任をもっている場合は、この表に記載することができる。

※ 複数分野にまたがる教育課程を有し、その課程を教育研究上の基本組織とみなしている場合は、この表に記載することができる。

※ 組織番号は、領域 6 の資料名作成の際に利用します。

○学生募集を停止した教育研究上の基本組織（廃止した教育研究上の基本組織を含む。）

組織番号	教育研究上の基本組織	教育課程	備考
02	文化科学研究科地域文化学専攻	地域文化学専攻	2023年4月学生募集停止
03	文化科学研究科比較文化学専攻	比較文化学専攻	
04	文化科学研究科国際日本研究専攻	国際日本研究専攻	
05	文化科学研究科日本歴史研究専攻	日本歴史研究専攻	
06	文化科学研究科日本文学研究専攻	日本文学研究専攻	
07	物理科学研究科構造分子科学専攻	構造分子科学専攻	
08	物理科学研究科機能分子科学専攻	機能分子科学専攻	
09	物理科学研究科天文科学専攻	天文科学専攻	
10	物理科学研究科核融合科学専攻	核融合科学専攻	
11	物理科学研究科宇宙科学専攻	宇宙科学専攻	
12	高エネルギー加速器科学研究科加速器科学専攻	加速器科学専攻	
13	高エネルギー加速器科学研究科物質構造科学専攻	物質構造科学専攻	
14	高エネルギー加速器科学研究科素粒子原子核専攻	素粒子原子核専攻	
15	複合科学研究科統計科学専攻	統計科学専攻	
16	複合科学研究科極域科学専攻	極域科学専攻	
17	複合科学研究科情報学専攻	情報学専攻	
18	生命科学研究科遺伝学専攻	遺伝学専攻	
19	生命科学研究科基礎生物学専攻	基礎生物学専攻	
20	生命科学研究科生理科学専攻	生理科学専攻	
21	先導科学研究科生命共生体進化学専攻	生命共生体進化学専攻	

※ 組織番号は、領域6の資料名作成の際に利用します。

基準 2 - 1 【重点評価項目】 内部質保証に係る体制が明確に規定されていること

分析項目 2 - 1 - 3 施設及び設備、学生支援並びに学生の受入に関して質保証について責任をもつ体制を整備していること

【分析の手順】

- ・施設及び設備（情報関連施設設備及び図書館を含む。）の質保証に責任をもつ役職名（学長が最終的な責任者であるとして、とりわけ質保証に関して責任をもつ者）と該当する体制（組織）を確認する。
- ・学生支援の質保証に責任をもつ役職名（学長が最終的な責任者であるとして、とりわけ質保証に関して責任をもつ者）と該当する体制（組織）を確認する。
- ・学生の受入に責任をもつ役職名（学長が最終的な責任者であるとして、とりわけ質保証に関して責任をもつ者）と該当する体制（組織）を確認する。
- ・機関別内部質保証体制と上記責任者との情報共有の形態（委員会やセンターのような組織の名称と体制。複数の組織が共同して行う場合はすべてを記載）を確認する。
- ・該当する体制（組織）の構成員を確認する。

※「管理運営等の質保証」については、基準 3 - 5 で確認する。

- ・質保証について責任をもつ体制への構成員等の一覧（別紙様式 2 - 1 - 3）

施設設備（情報関連施設設備及び図書館を含む。）

組織	責任者	活動の内容	構成員
財務・マネジメント委員会	学長が指名する理事	財務及び施設・設備に関する事項の審議	学長が指名する理事、統合進化科学研究センター長、附属図書館長、教育企画開発センター長、学術情報基盤センター長、事務局長、財務課長、その他理事が必要と認める者
各コース	コース長	コースの利用に供される基盤機関の施設及び設備に関する自己点検・評価	コースを担当する教員

組織	責任者	活動の内容	構成員
附属図書館運営委員会	附属図書館長	附属図書館に関する規則等の制定・改廃、予算、その他附属図書館の運営に関する重要な事項の審議	附属図書館長、総合研究大学院大学運営会議委員(学長、理事、副学長、執行役及び学長補佐、先端学術院長、先端学術院先端学術専攻のコースの長、事務局長、学長が指名する職員)
学術情報基盤センター運営委員会	学術情報基盤センター長	学術情報基盤センターに関する規則等の制定・改廃、予算及び決算、その他学術情報基盤センターの運営に関する事項の審議	学術情報基盤センター長、総合研究大学院大学運営会議委員(学長、理事、副学長、執行役及び学長補佐、先端学術院長、先端学術院先端学術専攻のコースの長、事務局長、学長が指名する職員)

学生支援

組織	責任者	活動の内容	構成員
学生支援委員会	学長が指名する理事又は副学長	学生の経済支援、修学支援、生活支援及び就職支援等(学生支援)に係る先端学術院内の調整に関する事項の審議及び処理	学長が指名する理事又は副学長、各コースの学生支援を所掌する委員会等の委員長等又は同委員長等が指名した教員(各1名)、委員長が指名する者(若干名)

学生受入

組織	責任者	活動の内容	構成員
入試監理委員会	学長が指名する理事又は副学長	入学者選抜等に係る原案の作成及び先端学術院内の調整に関する事項の審議及び処理	学長が指名する理事又は副学長、各コースの入試を所掌する委員会等の委員長等または同委員長等が指名した教員(各1名)、委員長が指名する者(若干名)

基準 2 - 2 【重点評価項目】 内部質保証のための手順が明確に規定されていること

分析項目 2 - 2 - 2 教育課程ごとの点検・評価において、領域 6 の各基準に照らした判断を行うことが定められていること

【分析の手順】

- ・教育課程ごとの点検・評価において、領域 6 の各基準で分析する内容の点検・評価を行うことが規定で定められていることを確認する。
- ・教職課程として認定を受けた教育課程については、教育職員免許法施行規則第 22 条の 8 が定める点検及び評価を行うことを含めて内部質保証の手順が定められていることを確認する。
- ・連携開設科目を開設する教育課程については、他の大学が開設する科目も含めて適否の確認を行うなど点検・評価において重点的に取り扱われていることを確認する。
- ・教育課程における評価の内容を規定する規定類一覧（別紙様式 2 - 2 - 2）

教育課程	評価の内容を規定する規定類	内部質保証の統括責任者による決定日
先端学院先端学術専攻	国立大学法人総合研究大学院大学自己点検・評価実施細則	平成 30 年 11 月 28 日
先端学院先端学術専攻	自己点検・評価の実施時期について	令和 4 年 10 月 5 日

基準 2 - 2 【重点評価項目】 内部質保証のための手順が明確に規定されていること

分析項目 2 - 2 - 3 施設及び設備、学生支援、学生の受入に関して行う自己点検・評価の方法が明確に定められていること

【分析の手順】

・施設設備、学生支援、学生受入に関して自己点検・評価の実施時期、評価方法を規定する規定類を確認する。

※評価対象事項、実施時期、実施主体、評価基準について具体的に定められていることが必要。

・自己点検・評価の実施時期、評価方法を規定する規定類一覧（別紙様式 2 - 2 - 3）

評価の対象	実施時期	評価方法を規定する規定類
施設設備	評価委員会が別に定める期間ごと(3年に1回)	国立大学法人総合研究大学院大学における施設及び設備、学生支援並びに学生の受入に係る自己点検・評価細則
学生支援	評価委員会が別に定める期間ごと(3年に1回)	国立大学法人総合研究大学院大学における施設及び設備、学生支援並びに学生の受入に係る自己点検・評価細則
学生受入	評価委員会が別に定める期間ごと(3年に1回)	国立大学法人総合研究大学院大学における施設及び設備、学生支援並びに学生の受入に係る自己点検・評価細則

基準 2 - 2 【重点評価項目】内部質保証のための手順が明確に規定されていること

分析項目 2 - 2 - 4 機関別内部質保証体制において、関係者（学生、卒業（修了）生、卒業（修了）生の主な雇用者等）から意見を聴取する仕組みを設けていること

【分析の手順】

・教育課程、施設及び設備、学生支援並びに学生の受入のそれぞれに関して、関係者（学生、卒業（修了）生、卒業（修了）生の主な雇用者等）から意見を聴取することが定められており、その結果を機関別内部質保証体制が確認する仕組みを設けていることを確認する。

※聴取対象事項のそれぞれについて、実施時期（頻度）、実施主体、意見聴取内容が具体的に定められていることが必要。

※学生からの意見聴取については、授業評価アンケートも含む。

・意見聴取の実施時期、内容等一覧（別紙様式 2 - 2 - 4）

評価の対象	実施主体	聴取対象者	実施時期	実施内容	評価方法を規定する規定類
教育課程	教育企画開発センター	在学生（正規生）	毎年度	在学生アンケート	在学生アンケート実施要項
		修了生（修了時）	每学期（修了時）	修了時アンケート	修了時アンケート実施要項
		修了生（修了してから原則として2年を経過した者）	毎年度	修了生アンケート	修了生アンケート実施要項
	各コース	修了生の就職先等	本学の中期目標期間を考慮し別に定める時期	就職先アンケート	就職先アンケート等実施要項
施設設備	教育企画開発センター	在学生（正規生）	毎年度	在学生アンケート	在学生アンケート実施要項
		修了生（修了時）	每学期（修了時）	修了時アンケート	修了時アンケート実施要項
		修了生（修了してから原則として2年を経過した者）	毎年度	修了生アンケート	修了生アンケート実施要項
学生支援	教育企画開発センター	在学生（正規生）	毎年度	在学生アンケート	在学生アンケート実施要項
		修了生（修了時）	每学期（修了時）	修了時アンケート	修了時アンケート実施要項
		修了生（修了してから原則として2年を経過した者）	毎年度	修了生アンケート	修了生アンケート実施要項

別紙様式 2 - 2 - 4

総合研究大学院大学

評価の対象	実施主体	聴取対象者	実施時期	実施内容	評価方法を規定する規定類
学生受入	教育企画開発センター	在学生(正規生)	毎年度	在学生アンケート	在学生アンケート実施要項

基準 2 - 2 【重点評価項目】 内部質保証のための手順が明確に規定されていること

分析項目 2 - 2 - 5 機関別内部質保証体制において共有、確認された自己点検・評価結果（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受審した第三者評価の結果を含む。）を踏まえた対応措置について検討、立案、提案する手順が定められていること

【分析の手順】

- ・ 確認された自己点検・評価の結果（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受審した第三者評価の結果を含む。）を踏まえた対応措置について、検討、立案、提案するための手順を、それを定めた規定類によって確認する。
- ・ 自己点検・評価の結果（当該自己点検・評価を基に受審した第三者評価の結果を含む。）において確認された事項について、特に教育課程ごとにその質保証に責任をもつ教育研究上の基本的組織がその対応の方針及び対応の計画を策定していることを確認する。

※外部者の意見とは、経営協議会、経営審議会等外部者の参画が中心となるものを想定。

・ 検討、立案、提案の責任主体一覧（別紙様式 2 - 2 - 5）

評価の対象	検討、立案、提案の責任主体	検討、立案、提案の方法を規定する規定類
教育課程	改善が必要と認められた事項を所掌する理事又は関係部局の長	国立大学法人総合研究大学院大学評価規則 第 11 条
施設設備	改善が必要と認められた事項を所掌する理事又は関係部局の長	国立大学法人総合研究大学院大学評価規則 第 11 条
学生支援	改善が必要と認められた事項を所掌する理事又は関係部局の長	国立大学法人総合研究大学院大学評価規則 第 11 条
学生受入	改善が必要と認められた事項を所掌する理事又は関係部局の長	国立大学法人総合研究大学院大学評価規則 第 11 条

基準 2 - 2 【重点評価項目】 内部質保証のための手順が明確に規定されていること

分析項目 2 - 2 - 6 機関別内部質保証体制において承認された計画を実施する手順が定められていること

【分析の手順】

・分析項目 2-2-5 の手順を経た上で機関別内部質保証体制において承認された対応措置の実施計画について、当該計画を実施するための手順が規程上定められていることを確認する。

・実施の責任主体一覧（別紙様式 2 - 2 - 6）

評価の対象	実施の責任主体	実施の方法を規定する規定類
教育課程	改善が必要と認められた事項を所掌する理事又は関係部局の長	国立大学法人総合研究大学院大学評価規則 第 11 条
施設設備	改善が必要と認められた事項を所掌する理事又は関係部局の長	国立大学法人総合研究大学院大学評価規則 第 11 条
学生支援	改善が必要と認められた事項を所掌する理事又は関係部局の長	国立大学法人総合研究大学院大学評価規則 第 11 条
学生受入	改善が必要と認められた事項を所掌する理事又は関係部局の長	国立大学法人総合研究大学院大学評価規則 第 11 条

基準 2 - 3 【重点評価項目】 内部質保証が有効に機能していること

分析項目 2 - 3 - 1 自己点検・評価の結果を踏まえて決定された対応措置の実施計画に対して、計画された取組が成果を上げていること、又は計画された取組の進捗が確認されていること、あるいは、取組の計画に着手していることが確認されていること

【分析の手順】

・機関別内部質保証体制において決定された対応措置（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受審した第三者評価の結果を含む。）の実施計画のすべてについて、成果、進捗、検討状況を確認する。

※確認された事項及び計画された取組については、各基準と関連付ける。

・計画等の進捗状況一覧（別紙様式 2 - 3 - 1）

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
平成29 年6月	・大学共同利用機関との連絡・調整を密にし、きちんとしたものを位置付けた方がよい。	経営協議会学外委員からの意見（第52回）	<p>・2023年度から大学共同利用機関との緊密な連係及び協力の下に本学の運営を行うことを目的として、基盤機関長会議を設置することを決定した。</p> <p>・2022年6月から2022年12月にかけて、学長が全ての大学共同利用機関を訪問し、よりよい関係性によって大学院教育が行われるように、大学共同利用機関の長と意見交換を実施した。また、報告をとりまとめ、次</p>	学長 基盤機関長会議	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 2 - 2

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			期執行部への引継ぎ事項とした。			
令和元年3月	総研大の目標を広報で宣伝していたいて、ちゃんとわかるようにしていただきたい。	経営協議会学外委員からの意見（第58回）	<p>・先端学院への組織再編にあわせ、本学が世界トップクラスの研究機関を基盤とした大学院大学という、ほかに類を見ない特色をわかりやすく明確に提示するとともに、それら高度に専門的な様々な教育・研究リソース等を横断的に表現するウェブサイトへリニューアルすることを2022年7月に決定の上、開発等を実施し、2023年4月1日から新ウェブサイトを開覧できるよう、2023年3月31日に切り替え作業を実施した。</p> <p>・ウェブサイト訪問者が目的とする情報を取得しやすく、また訪問者からのフィードバックを機動的に反映できるよう、ウェブサイト構造を見直した。</p>	総合企画課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準3-6
令和元年6月	第4期に向けて総研大の特徴をうまく生かすことができるような中期目標を設定するための議論が必要ではないか。	経営協議会学外委員からの意見（第59回）	<p>・第4期中期目標・中期計画の策定に際し、機構長・学長ミーティング等による大学共同利用機関法人との協議、各大学共同利用機関の長等との</p>	評価委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	基準2-2

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			個別の意見交換を実施した。 ・第4期中期目標には、大学共同利用機関を基盤とする大学院大学として、学術コミュニティをステークホルダーとして位置づける等、本学の特徴を生かしたものとしました。		()	
令和元年 12月	・大学の将来構想と今後の取組における、基盤機関の人材育成と連動した教育課程の実施について、企業との共同研究を実施する際や基盤機関の職員として学生が活動する際の制度設計についてお願いしたい。	経営協議会学外委員からの意見（第61回）	2023年1月17日付けで、「国立大学法人総合研究大学院大学と大学共同利用機関法人及び国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構との関係協力に関する協定書」を変更し、新たに前文を設け、両機関の役割と担当教員の業務及び各機関における学生への身分付与の取扱いを明確にした。このほか、懸念となっていた教員や学生が非違行為を行った際の関係内容を明示した。	学長	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準1-1
令和元年 12月	大学共同利用機関での研究を通じて学生を育成できるという他の国立大学にはない最も良い特徴をより明確にした上で、学生の育成と世界で最先端の研究を進めるという視点で極め	経営協議会学外委員からの意見（第61回）	基礎研究・学術研究の将来を担う人材を育成するために、本学学生を特別研究員として採用し、3年間に亘って研究専念支援金及び研究費を支給するとともに、研究者としてのキャ	先端学術院	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準4-2

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	<p>て有効な学生育成システムを大学共同利用機関法人と総研大法人による「連合体」で考えた方が良い。</p>		<p>リアを築く機会として、優れた学位論文研究を行って課程を修了した採用者に対して、大学共同利用機関における2年間の研究員ポストを提供する「SOKENDAI 特別研究員制度」について、規則やその運営方法を整備した。本事業は大学共同利用機関法人と総研大法人による連合体（アライアンス）の人材育成事業としても位置づけられている。</p>			
			<p>大学共同利用機関を基盤とする構造を活かしながら、複数の分野が関連する複合領域の研究者人材を育成する施策として、学生の所属に捉われずに複数の基盤機関・担当教員が連携して研究指導を行う「学内共同研究指導制度」を整備し、この制度を活用して、高エネルギー加速器科学研究科物質構造科学専攻の学生を物理科学研究科構造分子科学専攻の教員が、物理科学研究科天文学専攻の学生を同研究科核融合科学専攻の教</p>	先端学術院	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準 6 - 3

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			員が、それぞれの所属専攻の指導教員とともに共同研究指導した。			
令和2 年3月	<p>・物理科学研究科、複合科学研究科及び生命科学科において、1年次の実入学者数が入学定員を大幅に超えている。</p> <p>・先導科学研究科において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。</p>	令和元年度実施大学機関別認証評価 (基準5-3)	令和5年4月の先端学術院先端学術専攻への改組に伴い、入学定員・収容定員を細分化せずに全体として管理しつつ、過去の入学者数の状況等も踏まえて設定した。先端学術院の入学定員に対する令和5年度実入学者の割合は、博士後期課程及び5年一貫制博士課程ともに、「大幅に超える」、または、「大幅に下回る」状況とはなっておらず、入学定員の超過・未充足の状況が改善された。	先端学術院	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準5-3
令和2 年5月	基準2-5の評価理由において、「授業の内容及び方法の改善を図るためのFDについて、大学及び研究科としての組織的な取組が行われているとは言えず、平成25年度機関別認証評価においてFDを強化する必要があるという指摘を受けたにも関わらず、一部の専攻において関連する取組が実施されているにとどまっている。」とされ	監事からの意見(令和2年度第1回全学評価委員会)	教育企画開発センターを中心にFDに関する取組を実施している。令和4年には研究指導における現場ニーズに即したFD研修を実施するための情報収集を目的として、本学の各研究科に属する全教員を対象とした「研究指導に関する教員アンケート」を実施し、当該アンケートにおいて、各教員が研究指導上で抱えやす	教育企画開発センター	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準2-5

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	ていることは、真摯に受け止めるべきである。また、基準4-2でハラスメントの対応を適切に行っている旨の評価がなされている。今般、FDの重要性は教育方法だけでなくハラスメント問題についても高まっているので、FDの拡充については重く受け止めてもらいたい。		い問題やそのような問題に対してどのような支援策を大学に求めているのかなどの調査を行った。 そのうえで、本学教職員を対象に研究指導やハラスメント防止等に関する講演会を開催した（令和4年度：2回、令和5年度：3回、令和6年度：6回）。			
令和2 年 12 月	・第6次科学技術・イノベーション基本計画等で謳われている新分野創成、文理融合を考えると、文系理系を分けるのはよくないのではないか。	経営協議会学外委員からの意見（第64回）	・2023年4月1日より先端学術院先端学術専攻を設置するために、2022年8月に設置に必要な文部科学省への届出を行った。 ・先端学術院では、各専門領域に細分化して管理していた収容定員を全体で管理することで、社会の要請や学生のニーズに即した学生数を受入れることができる体制とした。また、文系理系を分けずに学生を受入れることとし、全ての専門領域の授業科目を履修できるように整備した。	学長 先端学術院	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準2-4
令和3 年 8月	物理科学研究科・複合科学研究科・生命科学科において、入学定員充足	国立大学法人評価（第3期中期目標期間（4年目終了時））時の書面調査	令和5年4月の先端学術院先端学術専攻への改組に伴い、入学定員・収容	先端学術院	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中	基準5-3

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	<p>率が大幅に超過し、また先導科学研究科において、入学定員充足率が大幅に不足している。</p> <p>文化科学研究科・物理科学研究科・高エネルギー加速器科学研究科・複合科学研究科・生命科学研究所・先導科学研究科において、標準修業年限内修了率が低い。</p>	シート（現況分析結果）	<p>定員を細分化せずに全体として管理しつつ、過去の入学者数の状況等も踏まえて設定した。先端学院の入学定員に対する令和5年度実入学者の割合は、博士後期課程及び5年一貫制博士課程ともに、「大幅に超える」、または、「大幅に下回る」状況とはなっておらず、入学定員の超過・未充足の状況が改善された。</p> <p>また、修了率については、先端学院専攻への改組とともに、先端学院として研究指導の進捗管理体制を整備した。改組後初の博士後期課程の学生が、2025年度に修了する予定であることから、2025年度以降に改善状況を確認する。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	
令和4年3月	<p>学生アンケートの設問で、「教員の都合によって授業が開講されないことがあった」というのは、科目自体が開講されなかったのではなく、一回ごとの講義の時間が変更になったことなども含まれているのではないかと設問</p>	評価実施委員会（2022年度第1回）	<p>「履修を希望した授業科目が教員の事情によって開講されなかったことがある」との設問が曖昧な表現であったため、2022年9月の修了時アンケートから、「ゼミや研究指導科目以外の講義科目で、シラバスに開講と</p>	教育企画開発センター	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準6-8

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	を工夫した方がよい。		記載されているにも関わらず、教員の事情によって全く開講されなかった、または一部休講になり補講等が行われなかったことはありますか？」と設問文を改定した			
令和4 年3月	学生アンケートの結果について、専攻ごとに回答結果をもらえるとよい。	評価実施委員会（2022年度第1回）	2022年度実施分の学生アンケートアンケートから、各コース長に対して、回答者が特定されないように回答内容を加工したうえで、それぞれのコースにおける調査結果をフィードバックすることにした。	教育企画開発センター	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準6-8
令和4 年11 月	実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっている研究科がある。	施設及び設備、学生支援並びに学生の受入に係る自己点検・評価【領域5（学生の受入に関する基準）：全学入試監理委員会（2022年11月21日）】	実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっている研究科があるが、令和5年4月に現行の6研究科・20専攻を統合して、新たに先端学術院先端学術専攻を設置する。新たな教育組織では教育研究上の基本組織を大括りにすることで、入学定員・収容定員を細分化せずに全体として管理しつつ、過去の入学者数の状況等も踏まえ、社会の要請や学生のニーズに即して各	入試監理委員会	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準5-3

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
			専門領域が適切な学生数を受入れることのできる仕組みにする。このことにより、入学定員の超過・未充足の状況は改善できる見込みである。			
令和5 年3月	基盤機関教員を総合研究大学院大学の担当教員に任命しているため、授業評価やFD等において組織的な取組が十分に進んでいるとは認められない。学生の意見把握等に一定の取組が見られるものの、抜本的な改善に至っているとは認められない。	国立大学法人評価（第3期中期目標期間終了時評価）	教育企画開発センターを中心として、本学教職員を対象にFDに関する講演会等を開催した。	教育企画開発センター	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準2-5
令和5 年6月	総研大のホームページは刷新されすぎており、在学中の学生の所属先等はわからなくなっている一方で、各基盤機関のホームページでは新しいコースのことがまったく言及されていなかったりする。各基盤機関のホームページに対する親切的サポートをすべきであろう。	外部有識者からの意見（第4期中期計画の進捗状況に関する自己点検・評価・2022年度）	各基盤機関のホームページ更新について、随時サポートを実施。	総合企画課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準3-6
令和6 年6月	計画通りの改革について、基盤機関と協力して、社会ととりわけ全ての大学に伝えるという広報に欠けているので	外部有識者からの意見（第4期中期計画の進捗状況に関する自己点検・評価・2023年度）	先端学術院への改組による改革の成果等について、大学ウェブサイトへ掲載するなど、積極的な広報活動を	総合企画課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済	基準3-6

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	はないか。		行う。		<input type="checkbox"/> その他 ()	
令和6 年6月	外国人留学生比率（第4期平均3割） 【定量指標】について、昨年同様、お おむね達成しているものの目標値に は達成していない。留学生数（平均） が減少していることが懸念される。	外部有識者からの意見（第4期中期 計画の進捗状況に関する自己点検・ 評価・2023年度）	「国費外国人留学生の優先配置を行 う特別プログラム」の活用等、留学生 の確保に努める。	教育を担当する理事	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準3-6
令和5 年3月	「専攻を跨いで学術交流を行うプロ グラム」には、学生・教員の参加実績 が定常的に不十分な研究科があり、全 学として中期計画に掲げた「当該研究 科の専門基礎教育として位置づける」 には至っていない	国立大学法人評価（第3期中期目標 期間終了時評価）	先端学術院の20コースで開講する 全授業科目を「先端学術院基礎科 目」「先端学術院専門科目」に区分し、 学生が何れのコースを履修するか に関わらず、全ての授業科目から各自 の学修に適した科目を選択してコー スワークを組み立てることができる 柔軟な教育プログラムを導入	先端学術院	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準6-3
令和5 年6月	学生の満足度については恒常的にヒ アリングに努める誠実な仕組みなど があったほうがいい。	外部有識者からの意見（第4期中期 計画の進捗状況に関する自己点検・ 評価・2022年度）	毎年度、研究指導への満足度を含め、 教育研究活動等に係る状況に関する 在学生アンケートを実施。	教育企画開発センター	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ()	基準6-8
令和6 年6月	授業科目一覧がwebサイトに掲載され ており、それぞれの概要、レベルなど	外部有識者からの意見（第4期中期 計画の進捗状況に関する自己点検・	外部有識者より意見のあった「他コ ース学生が履修する際の注意事項」	教育を担当する理事	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中	基準6-4

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
	<p>が確認しやすくなっている。</p> <p>またシラバスも web で確認ができ分 りやすい。新たな項目として「他コー ス学生が履修する際の注意事項」が追 記されたことは良い取り組みである と考える。その記載内容については、 学生への情報提供が的確になされる よう更なる充実を期待したい。</p>	<p>評価・2023 年度)</p>	<p>の記載内容の更なる充実について は、学生が各授業内容等について直 接担当教員に問い合わせをできるよ うに 2024 年度からシラバスに「講義 に関する問い合わせ先」の項目を追 加するなど情報提供が十分になされ るよう、改善を図ったところである が、今後とも充実に努める。</p>		<p><input checked="" type="checkbox"/> 対応済</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>	

※指摘事項、意見など、自己点検・評価において、改善・向上が必要と確認された事項すべてについて記載する。

※年月の欄は、機関別内部質保証体制において、確認された年月を記載する。

※関連する基準に関する分析及び判断との整合性に留意する。

基準 2-5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

分析項目 2-5-1 教員の採用及び昇格等にあたって、教育上、研究上又は実務上の知識、能力及び実績に関する判断の方法等を明確に定め、実際にその方法によって採用、昇格させていること

【分析の手順】

- ・教員の採用や昇格等に際し、職階ごとに求める教育上、研究上又は実務上の知識、能力又は実績の水準を定めていることを確認する。
- ・その水準の判断を行う方法を明確に定めていることを確認する。
- ・特に教育研究上の指導能力については、その水準の判断を面接、模擬授業等で行っていることを確認する。
- ・基幹教員制度を導入している場合は、基幹教員（他大学等との兼務者）の採用等に係る規定を確認する。

※大学院の資格審査は様式に記載しなくてよい。

※共同大学院の資格審査は、特記事項に記載する。

・教員の採用・昇任の状況（過去 5 年分）（別紙様式 2-5-1）

令和 6 年度

教育研究上の基本組織	採用人数	判断の方法	昇任人数	判断の方法
先端学術院先端学術専攻	72 人 (うち、統合進化科学研究センター 0 人)	国立大学法人総合研究大学院大学と大学共同利用機関法人及び国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構との関係協力に関する協定書第 4 条の規定に基づき、機構法人の長の申し出に基づき任命する。ただし、先端学術院先端学術専攻統合進化科学コースにおいては、統合進化科学研究センターの教員選考に関する内規により判断。	29 人 (うち、統合進化科学研究センター 0 人)	国立大学法人総合研究大学院大学と大学共同利用機関法人及び国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構との関係協力に関する協定書第 4 条の規定に基づき、機構法人の長の申し出に基づき任命する。ただし、先端学術院先端学術専攻統合進化科学コースにおいては、統合進化科学研究センター教員の昇任に関する内規により判断。

令和 5 年度

教育研究上の基本組織	採用人数	判断の方法	昇任人数	判断の方法
先端学術院先端学術専攻	104 人 (うち、 統合進化 科学研究 センター 3 人)	国立大学法人総合研究大学院大学と大学共同利用機関法人及び国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構との関係協力に関する協定書第 4 条の規定に基づき、機構法人の長の申し出に基づき任命する。ただし、先端学術院先端学術専攻統合進化科学コースにおいては、統合進化科学研究センターの教員選考に関する内規により判断。	20 人 (うち、 統合進化 科学研究 センター 0 人)	国立大学法人総合研究大学院大学と大学共同利用機関法人及び国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構との関係協力に関する協定書第 4 条の規定に基づき、機構法人の長の申し出に基づき任命する。ただし、先端学術院先端学術専攻統合進化科学コースにおいては、統合進化科学研究センター教員の昇任に関する内規により判断。

令和 4 年度

教育研究上の基本組織	採用人数	判断の方法	昇任人数	判断の方法		
文化科学研究科地域文化学専攻	1 人	国立大学法人総合研究大学院大学と大学共同利用機関法人及び独立行政法人宇宙航空研究開発機構との関係協力に関する協定書第 4 条の規定に基づき、機構法人の長の申し出に基づき任命する。	1 人	国立大学法人総合研究大学院大学と大学共同利用機関法人及び独立行政法人宇宙航空研究開発機構との関係協力に関する協定書第 4 条の規定に基づき、機構法人の長の申し出に基づき任命する。		
文化科学研究科比較文化学専攻	1 人		0 人			
文化科学研究科国際日本研究専攻	2 人		1 人			
文化科学研究科日本歴史研究専攻	0 人		0 人			
文化科学研究科日本文学研究専攻	1 人		0 人			
物理科学研究科構造分子科学専攻	0 人		0 人			
物理科学研究科機能分子科学専攻	4 人		0 人			
物理科学研究科天文科学専攻	5 人		6 人			
物理科学研究科核融合科学専攻	8 人		0 人			
物理科学研究科宇宙科学専攻	6 人		4 人			
高エネルギー加速器科学研究科	25 人		11 人			
複合科学研究科統計科学専攻	4 人		0 人			
複合科学研究科極域科学専攻	2 人		4 人			
複合科学研究科情報学専攻	4 人		4 人			
生命科学研究科遺伝学専攻	3 人		0 人			
生命科学研究科基礎生物学専攻	5 人		2 人			
生命科学研究科生理科学専攻	0 人		0 人			
先導科学研究科生命共生体進化学専攻	0 人		先導科学研究科の教員選考に関する内規により判断。		0 人	先導科学研究科教員の昇任に関する内規により判断。

令和 3 年度

教育研究上の基本組織	採用人数	判断の方法	昇任人数	判断の方法		
文化科学研究科地域文化学専攻	1 人	国立大学法人総合研究大学院大学と大学共同利用 機関法人及び独立行政法人宇宙航空研究開発機 構との関係協力に関する協定書第4条の規定に基 づき、機構法人の長の申し出に基づき任命する。	2 人	国立大学法人総合研究大学院大学と大学共同利用 機関法人及び独立行政法人宇宙航空研究開発機 構との関係協力に関する協定書第4条の規定に基 づき、機構法人の長の申し出に基づき任命する。		
文化科学研究科比較文化学専攻	0 人		1 人			
文化科学研究科国際日本研究専攻	1 人		1 人			
文化科学研究科日本歴史研究専攻	4 人		1 人			
文化科学研究科日本文学研究専攻	2 人		1 人			
物理科学研究科構造分子科学専攻	5 人		0 人			
物理科学研究科機能分子科学専攻	2 人		0 人			
物理科学研究科天文科学専攻	7 人		7 人			
物理科学研究科核融合科学専攻	9 人		1 人			
物理科学研究科宇宙科学専攻	6 人		1 人			
高エネルギー加速器科学研究科	21 人		26 人			
複合科学研究科統計科学専攻	0 人		0 人			
複合科学研究科極域科学専攻	2 人		0 人			
複合科学研究科情報学専攻	2 人		1 人			
生命科学研究科遺伝学専攻	5 人		1 人			
生命科学研究科基礎生物学専攻	2 人		0 人			
生命科学研究科生理科学専攻	7 人		0 人			
先導科学研究科生命共生体進化学専 攻	1 人		先導科学研究科の教員選考に関する内規により判 断。		0 人	先導科学研究科教員の昇任に関する内規により判 断。

令和 2 年度

教育研究上の基本組織	採用人数	判断の方法	昇任人数	判断の方法		
文化科学研究科地域文化学専攻	2 人	国立大学法人総合研究大学院大学と大学共同利用機関法人及び独立行政法人宇宙航空研究開発機構との関係協力に関する協定書第 4 条の規定に基づき、機構法人の長の申し出に基づき任命する。	0 人	国立大学法人総合研究大学院大学と大学共同利用機関法人及び独立行政法人宇宙航空研究開発機構との関係協力に関する協定書第 4 条の規定に基づき、機構法人の長の申し出に基づき任命する。		
文化科学研究科比較文化学専攻	1 人		1 人			
文化科学研究科国際日本研究専攻	0 人		1 人			
文化科学研究科日本歴史研究専攻	0 人		2 人			
文化科学研究科日本文学研究専攻	2 人		0 人			
物理科学研究科構造分子科学専攻	5 人		0 人			
物理科学研究科機能分子科学専攻	4 人		0 人			
物理科学研究科天文科学専攻	6 人		3 人			
物理科学研究科核融合科学専攻	7 人		0 人			
物理科学研究科宇宙科学専攻	5 人		2 人			
高エネルギー加速器科学研究科	15 人		16 人			
複合科学研究科統計科学専攻	3 人		6 人			
複合科学研究科極域科学専攻	0 人		0 人			
複合科学研究科情報学専攻	3 人		1 人			
生命科学研究科遺伝学専攻	1 人		0 人			
生命科学研究科基礎生物学専攻	6 人		1 人			
生命科学研究科生理科学専攻	5 人		1 人			
先導科学研究科生命共生体進化学専攻	2 人		先導科学研究科の教員選考に関する内規により判断。		0 人	先導科学研究科教員の昇任に関する内規により判断。

基準 2-5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

分析項目 2-5-2 教員の教育活動、研究活動及びその他の活動に関する評価を継続的に実施していること

【分析の手順】

- ・教員の教育及び研究活動に関する評価を継続的（定期的）に実施すること、及び、教員評価の目的を定めていることについて、規則等で規定していることを確認する。
 - ・基幹教員制度を導入している場合は、基幹教員に係る教員評価の実施について規則等で規定していることを確認する。
 - ・その他の活動について教員評価を実施している場合は、それを含めて確認する。
- ※その他の活動とは、例えば、管理運営、社会貢献、診療を含む。
- ・規定に基づいて実施されていることについて、評価実施年度、評価対象者、評価結果を確認する。

・教員業績評価の実施状況（別紙様式 2-5-2）

評価実施年度	評価対象者数	評価結果	備考
2024 年度	18 名	(1) 特に優れている : 0 名 (2) 優れている : 8 名 (3) 良好である : 8 名 (4) 改善の余地がある : 2 名 (5) 改善を要する : 0 名	統合進化科学コースの教員のみ（「国立大学法人総合研究大学院大学教員評価実施細則」第3条の評価基準に基づき評価実施）。 統合進化科学コース以外の教員については、「総合研究大学院大学の教員評価制度の設計・運用の在り方について（指針）」に基づき、各基盤機関の教員評価の体制やその実施状況について評価（メタ評価）を行う。
2023 年度	16 名	(1) 特に優れている : 0 名 (2) 優れている : 5 名 (3) 良好である : 10 名 (4) 改善の余地がある : 1 名 (5) 改善を要する : 0 名	統合進化科学コースの教員のみ（「国立大学法人総合研究大学院大学教員評価実施細則」第3条の評価基準に基づき評価実施）。 統合進化科学コース以外の教員については、「総合研究大学院大学の教員評価制度の設計・運用の在り方について（指針）」に基づき、各基盤機関の教員評価の体制やその実施状況について評価（メタ評価）を行う。

別紙様式 2 - 5 - 2

総合研究大学院大学

評価実施年度	評価対象者数	評価結果	備考

※直近3年程度の実施状況を記載する。

基準 2 - 5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

分析項目 2 - 5 - 3 評価の結果、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること

【分析の手順】

- ・評価結果を、個々の教員の処遇や教育研究費の配分、改善への指導等に反映させる規定がある場合は、その規定を確認する。
 - ・分析項目 2 - 5 - 2 において確認した評価結果ごとの反映実績を確認する。
 - ・高い評価結果を、個々の教員の処遇や教育研究費の配分に反映させる規定がある場合は、その規定を確認する。
 - ・低い評価結果を、改善への指導を実施する等の規定がある場合は、その規定を確認する。
 - ・上記のほか、継続的な研究成果の創出のために必要な措置や処遇等（研究専念期間の設定、産休・育休等ライフイベントに対応した研究環境維持のための措置など）に関する規定がある場合は、その規定を確認する。
- ・評価結果に基づく取組（別紙様式 2 - 5 - 3）

評価実施年度	評価対象者数	評価結果に基づく取組	備考
2024 年度	18 名	昇給に反映 A（極めて良好）：2 人 B（特に良好）：2 人	統合進化科学コースの教員のみ（「国立大学法人総合研究大学院大学職員給与規則」第 19 条及び別表 17 により、昇給へ反映）。 統合進化科学コース以外の教員については、「総合研究大学院大学の教員評価制度の設計・運用の在り方について（指針）」に基づき、各基盤機関の教員評価の体制やその実施状況について評価（メタ評価）を行う。
2023 年度	16 名	昇給に反映 A（極めて良好）：0 人 B（特に良好）：5 人	統合進化科学コースの教員のみ（「国立大学法人総合研究大学院大学職員給与規則」第 19 条及び別表 17 により、昇給へ反映）。 統合進化科学コース以外の教員については、「総合研究大学院大学の教員評価制度の設計・運用の在り方について（指針）」に基づき、各基盤機関の教員評価の体制やその実施状況について評価（メタ評価）を行う。

別紙様式 2 - 5 - 3

総合研究大学院大学

評価実施年度	評価対象者数	評価結果に基づく取組	備考

※直近3年程度の取組を記載する。

別紙様式 2 - 5 - 4

基準 2 - 5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

分析項目 2 - 5 - 4 授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント（FD）を組織的に実施していること

【分析の手順】

・FDの実施内容・方法（教育方法等の研究・研修、教員相互の授業見学等）及び実施状況（教員参加状況を含む。）を確認する。

※教員に対する研修であっても、授業の内容及び方法の改善を図るための研修ではないものについては、分析項目 3 - 4 - 2 において確認する。

・FDの内容・方法及び実施状況一覧（別紙様式 2 - 5 - 4）

取組	主催	実施内容・方法	参加者数
オンデマンド FD 研修	教育企画開発センター	研究指導に関するコンテンツをオンデマンド研修方式で実施。(2024年9月～2025年3月末まで)	延べ 364 名
研究指導に関する個別相談	教育企画開発センター	毎月第4金曜日に担当カウンセラーによる研究指導に関する個別相談を開催。希望する教員が各自申し込みを行い、オンラインで実施する。(2024年9月～2025年3月末まで)	4 名

基準 2 - 5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

分析項目 2 - 5 - 5 教育活動を展開するために必要な教育支援者や指導補助者（教育補助者）が配置され、それらの者が適切に活用されていること

【分析の手順】

- ・教育課程を展開する上で（大学の目的等に照らして）必要な教務や厚生補導等を担う職員、教育活動の支援や補助等を行う職員、図書館の業務に従事する職員等の配置状況を確認する。
- ・演習、実験、実習又は実技を伴う授業を補助する職員の配置状況を確認する。
- ・指導補助者（当該授業科目を担当する教員以外の教員、T A等の教育補助者（大学設置基準第 8 条第 3 項））を配置している場合は、その定義・業務内容や採用等に係る手続きが規定されていること、配置状況、活用状況を確認する。
- ・教育支援者、指導補助者（教育補助者）一覧（別紙様式 2 - 5 - 5）

教育支援者

職種	所属	常勤	非常勤	計
教務関係や厚生補導等を担う職員	学務課教務係	3 人	1 人	67 人
	学務課学生係	3 人	2 人	
	国立民族学博物館管理部研究協力課 研究協力係	1 人	2 人	
	国際日本文化研究センター管理部研究協力課 研究支援係	2 人	1 人	
	国立歴史民俗博物館管理部研究協力課 研究教育係	1 人	2 人	
	国文学研究資料館管理部総務課 研究協力・教育支援係	3 人	2 人	
	国立国語研究所研究推進課大学院教育事務担当	1 人	1 人	
	総合地球環境学研究所総務課総務企画係	1 人	1 人	
	自然科学研究機構岡崎統合事務センター国際研究協力課大学院係	3 人	2 人	
	国立天文台事務部研究推進課 大学院係	1 人	2 人	

職種	所属	常勤	非常勤	計
	核融合科学研究所管理部研究支援課 大学院連携係	3人	2人	
	宇宙科学研究所科学推進部 学生担当	4人	0人	
	高エネルギー加速器研究機構管理局研究協力部研究協力課 大学院教育係	3人	2人	
	統計数理研究所管理部総務企画課総務企画係	1人	1人	
	国立極地研究所管理部総務企画課大学院係	3人	0人	
	国立情報学研究所総務部企画課 国際・教育支援チーム	3人	2人	
	国立遺伝学研究所管理部総務企画課 大学院係	1人	2人	
	総務課統合進化科学研究センター事務係	1人	4人	
教育活動の支援や補助等を行う職員				
図書館の業務に従事する職員	学術情報基盤センター本部図書館	1人	2人	103人
	国立歴史民俗博物館図書室	2人	3人	
	国文学研究資料館基幹事業センター図書館	6人	13人	
	国際日本文化研究センター図書館	7人	14人	
	国立民族学博物館図書室	2人	12人	
	国立国語研究所研究図書室	2人	4人	
	総合地球環境学研究所図書室	1人	2人	
	国立天文台図書室	1人	2人	
	核融合科学研究所図書室	1人	4人	
	大学共同利用機関法人自然科学研究機構岡崎情報図書館	2人	3人	
	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構図書室	1人	3人	
	国立極地研究所情報図書室	1人	4人	

職種	所属	常勤	非常勤	計
	国立情報学研究所図書室	1人	1人	
	統計数理研究所図書室	2人	0人	
	国立遺伝学研究所図書室	0人	1人	
	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所図書室	5人	0人	

指導補助者（教育補助者）

職種	教育研究上の基本組織等	総科目数	配置科目数	延べ人数	備考

※職種欄には、大学で規定する指導補助者の職種（例えば、T A、助手等）を記載する。

別紙様式 2-5-6

基準 2-5 組織的に、教員の質及び教育研究活動を支援又は補助する者の質を確保し、さらにその維持、向上を図っていること

分析項目 2-5-6 教育活動を展開するために必要な教育支援者や指導補助者（教育補助者）が担当する業務に応じて、研修の実施など必要な質の維持、向上を図る取組を組織的に実施していること

【分析の手順】

・研修等の方針、内容・方法及び実施状況等を確認する。

※教員を除く指導補助者（教育補助者）に対しては必要な研修を行うものとする。

※教育支援者に対する研修であっても、教育活動に関わる研修ではないものについては、分析項目 3-4-2 において確認する。

・教育支援者等に対する研修等内容・方法及び実施状況一覧（別紙様式 2-5-6）

職種	研修名	研修内容	主催者	回数	参加 延べ人数
教務関係や厚生補導等を担う職員	本学事務職員と本学コース事務担当者による関係協力の進展を目的とする意見交換会等	本学事務職員と本学コース事務担当者による関係協力の進展を目的とする意見交換会等	総務課総務係	1回	72名
教育活動の支援や補助等を行う職員					
図書館の業務に従事する職員	総合研究大学院大学附属図書館職員研修会	総研大図書館職員に必要な知識の習得と、日頃の業務遂行上の問題についての意見交換。外部講師によるOA化推進についての講演。対面およびオンラインによるハイブリッド開催。	附属図書館	1回	30名
指導補助者（教育補助者）					

基準3-1 財務運営が大学等の目的に照らして適切であること

分析項目3-1-2 教育研究活動に必要な予算を配分し、経費を執行していること

【分析の手順】

- ・過去5年間の予算・決算の状況を確認する。
- ・各項目に関し、30%以上乖離している場合は、その理由を確認する。
- ・経常損失がある場合は、その理由を確認する。
- ・特別損失が過大である場合は、その理由を確認する。

予算・決算の状況（過去5年分）（別紙様式3-1-2）

予算の部

（単位：千円）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
経常費用	2,067,000	2,078,000	2,257,000	2,305,000	2,158,000
教育研究経費	1,128,000	1,160,000	1,274,000	1,322,000	1,174,000
診療経費					
人件費	701,000	699,000	712,000	712,000	713,000
一般管理費	150,000	131,000	149,000	149,000	149,000
その他	88,000	88,000	122,000	122,000	122,000
経常収益	2,067,000	2,078,000	2,192,000	2,240,000	2,659,000
運営費交付金収益	1,686,000	1,683,000	1,776,000	1,786,000	1,769,000
学納金収益（入学、授業、検定料）	256,000	268,000	257,000	257,000	257,000
附属病院収益					
補助金・寄附金収益	15,000	14,000	100,000	138,000	121,000
その他	110,000	113,000	59,000	59,000	59,000

決算の部

（単位：千円）

（単位：千円）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
経常費用	1,906,212	1,998,473	2,122,304	2,257,203	2,348,511
教育研究経費	944,179	996,099	1,139,016	1,226,644	1,252,113
診療経費					
人件費	717,095	745,251	741,747	776,904	821,451
一般管理費	158,756	154,650	150,975	130,348	136,999
その他	86,181	102,473	90,566	123,307	137,948
経常収益	2,069,928	2,108,957	2,214,240	2,384,456	2,414,389
運営費交付金収益	1,673,968	1,684,903	1,812,508	1,898,889	1,850,891
学納金収益（入学、授業、検定料）	269,712	262,761	267,782	260,716	284,201
附属病院収益					
補助金・寄附金収益	17,114	41,309	99,436	149,310	185,298
その他	109,135	119,983	34,514	75,540	93,999

以下のうち、±30%以上乖離している場合は、その理由を確認する。

（単位：千円）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
経常費用					
教育研究経費	16.3%	14.1%	10.6%	7.2%	-6.7%
診療経費					
人件費	-2.3%	-6.6%	-4.2%	-9.1%	-15.2%
一般管理費	-5.8%	-18.1%	-1.3%	12.5%	8.1%
その他	2.1%	-16.4%	25.8%	-1.1%	-13.1%
経常収益					
運営費交付金収益	0.7%	-0.1%	-2.1%	-6.3%	-4.6%
学納金収益（入学、授業、検定料）	-5.4%	2.0%	-4.2%	-1.4%	-10.6%
附属病院収益					
補助金・寄附金収益	-14.1%	-195.1%	0.6%	-8.2%	-53.1%
その他	0.8%	-6.2%	41.5%	-28.0%	-59.3%

基準 3-2 管理運営のための体制が明確に規定され、機能していること

分析項目 3-2-2 法令遵守に係る取組及び危機管理に係る取組のための体制が整備されていること

【分析の手順】

- ・事業者としての大学に課される法令遵守事項等への対応体制の整備状況として、責任者の役職、責任者の判断と業務遂行を支援する組織、それらの業務及び組織の根拠となる規定を確認する。
- ・予期できない外的環境の変化等に対応するための、危機管理等に対応する責任者の役職、責任者の判断と業務遂行を支援する組織、それらの業務及び組織の根拠となる規定を確認する。
- ・法令遵守事項一覧（別紙様式 3-2-2）

遵守すべき義務	規定等整備状況	責任部署	備考
情報公開	国立大学法人総合研究大学院大学情報公開実施規程 国立大学法人総合研究大学院大学情報公開・個人情報開示等実施委員会設置要項	総務課法規係	
個人情報保護	国立大学法人総合研究大学院大学個人情報保護規程 国立大学法人総合研究大学院大学個人情報保護委員会規程 国立大学法人総合研究大学院大学の保有する特定個人情報保護規程 国立大学法人総合研究大学院大学保有個人情報開示等実施規程	総務課法規係	
公益通報者保護	国立大学法人総合研究大学院大学における公益通報者の保護等に関する規程	総務課法規係	
ハラスメント防止	国立大学法人総合研究大学院大学ハラスメント等の防止等に関する規程	総務課人事係	
安全保障輸出管理	総合研究大学院大学安全保障輸出管理規則 総合研究大学院大学安全保障輸出管理規程	総務課研究協力係	
生命倫理	国立大学法人総合研究大学院大学遺伝子組換え実験安全管理規程 総合研究大学院大学における「人を対象とする研究」の実施に関する規程	総務課研究協力係	

遵守すべき義務	規定等整備状況	責任部署	備考
	総合研究大学院大学「人を対象とする研究」倫理審査委員会規程		
動物研究	総合研究大学院大学動物研究ガイドライン	総務課研究協力係	
研究インテグリティ	国立大学法人総合研究大学院大学研究インテグリティの確保に関する規程	総務課研究協力係	
化学物質適正管理	総合研究大学院大学化学物質適正管理規程 総合研究大学院大学化学物質取扱い及び適正管理要領 総合研究大学院大学化学物質適正管理教育訓練要領 総合研究大学院大学化学物質危険・有害性評価要領	統合進化科学研究センター事務係	
動物研究・化学物質・毒物・劇物・特定有害物質・排水指定物質等	葉山キャンパス研究者ガイダンス 実験安全ガイドブック	統合進化科学研究センター事務係	

※大学の状況に応じて、その他の遵守すべき義務を、欄を追加して記載する。

・危機管理体制等一覧（別紙様式 3 - 2 - 2）

危機管理事項	規定等整備状況	責任部署	備考
防火・防災	国立大学法人総合研究大学院大学防火管理規程	財務課施設係	
情報セキュリティ	国立大学法人総合研究大学院大学情報セキュリティ基本方針 国立大学法人総合研究大学院大学情報セキュリティ基本規程 国立大学法人総合研究大学院大学情報セキュリティ委員会要項 国立大学法人総合研究大学院大学情報セキュリティ専門委員会要項 国立大学法人総合研究大学院大学情報システム専門委員会要項 国立大学法人総合研究大学院大学統合部局情報セキュリティ委員会要項 国立大学法人総合研究大学院大学事務局情報セキュリティ委員会要項 国立大学法人総合研究大学院大学 CSIRT 設置細則	学術情報基盤センター事務室	

危機管理事項	規定等整備状況	責任部署	備考
	国立大学法人総合研究大学院大学情報セキュリティアドバイザー設置要項 国立大学法人総合研究大学院大学の情報の格付及び取扱制限に関する細則 要機密情報の保存、送信等における保護方法について 国立大学法人総合研究大学院大学情報セキュリティ監査細則		
研究費等不正使用、研究活動に係る不正行為防止	総合研究大学院大学倫理綱領 国立大学法人総合研究大学院大学における研究費等の使用に関する行動規範 国立大学法人総合研究大学院大学における研究費等の不正使用防止に関する基本方針 国立大学法人総合研究大学院大学における研究活動の不正行為への対応に関する規程 国立大学法人総合研究大学院大学における研究費等の不正防止体制に関する規程 国立大学法人総合研究大学院大学知的財産ポリシー 国立大学法人総合研究大学院大学利益相反マネジメント規程 国立大学法人総合研究大学院大学利益相反マネジメントポリシー	財務課主計係 総務課研究協力係	
学生危機対応	国立大学法人総合研究大学院大学における危機管理に関する規程 学生の海外渡航ガイドライン 入学者選抜試験時における自然災害等が発生した場合の対応ガイドライン 在学生にかかる安否確認システムの運用ガイドラインについて	総務課法規係 学務課学生係	

別紙様式 3-3-1

総合研究大学院大学

基準 3-3 管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること

分析項目 3-3-1 管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること

【分析の手順】

- ・円滑な管理運営の実現に資するための組織について、役割や人員の配置状況、責任体制、規模を確認する。

- ・管理運営に係る組織一覧（部署ごとの人数（分析項目 2-5-5 教育支援者を含む。))（別紙様式 3-3-1）

部署	主な役割	常勤	非常勤	計	備考
事務局長	事務局の統括責任者	1人	0人	1人	国立大学法人総合研究大学院大学による雇用
総合企画課	運営企画、学生支援企画、 広報社会連携	6人	5人	11人	
総務課	総務、法規、人事、研究協力、 統合進化科学コース事務	11人	7人	18人	
財務課	主計、経理、用度、施設	9人	7人	16人	
学務課	統合進化科学コース以外のコー ス事務等、教務、学生支援、入試	8人	8人	16人	
学術情報基盤事務室	情報、図書	4人	5人	9人	
国立民族学博物館 管理部研究協力課 研究協力係	人類文化研究コース事務	1人	2人	3人	「国立大学法人総合研究大学院大学と大学 共同利用機関法人及び国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構との関係協力に関 する協定書」第2条及び第10条に基づいて、 事務処理を行っている。
国際日本文化研究センター 管理部研究協力課 研究支援係	国際日本研究コース事務	2人	1人	3人	
国立歴史民俗博物館 管理部研究協力課 研究教育係	日本歴史研究コース事務	1人	2人	3人	

部署	主な役割	常勤	非常勤	計	備考
国文学研究資料館 管理部総務課 研究協力・教育支援係	日本文学研究コース事務	3人	2人	5人	
国立国語研究所 研究推進課 大学院教育事務担当	日本語言語科学コース事務	1人	1人	2人	
総合地球環境学研究所 管理部総務課 総務企画係	総合地球環境学コース事務	2人	1人	3人	
自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務部国際研究協力課 大学院係	分子科学コース事務 基礎生物学コース事務 生理科学コース事務	3人	2人	5人	
国立天文台 事務部研究推進課 大学院係	天文科学コース事務	1人	2人	3人	
核融合科学研究所 管理部研究支援課 大学院連携係	核融合科学コース事務	3人	2人	5人	
宇宙科学研究所 科学推進部 学生担当	宇宙科学コース事務	4人	0人	4人	
高エネルギー加速器研究機構 管理局研究協力部研究協力課 大学院教育係	加速器科学コース事務 物質構造科学コース事務 素粒子原子核コース事務	3人	2人	5人	
統計数理研究所 管理部総務企画課 総務企画係	統計科学コース事務	1人	1人	2人	
国立極地研究所 管理部総務企画課 大学院係	極域科学コース事務	3人	0人	3人	

別紙様式 3 - 3 - 1

総合研究大学院大学

部署	主な役割	常勤	非常勤	計	備考
国立情報学研究所 総務部企画課 国際・教育支援チーム	情報学コース事務	3人	2人	5人	
国立遺伝学研究所 管理部総務企画課 大学院係	遺伝学コース事務	1人	2人	3人	

別紙様式 3-4-1

基準 3-4 教員と事務職員等との役割分担が適切であり、これらの者との連携体制が確保され、能力を向上させる取組が実施されていること

分析項目 3-4-1 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること

【分析の手順】

- ・大学の管理運営のための組織の責任体制（分析項目 3-2-1）と事務組織（分析項目 3-3-1）の関係を確認する。
- ・大学の管理運営に係る合議体に、教員と事務職員が構成員として参加していることを確認する。

※役割分担が適切であるとは、教員と事務職員等がそれぞれの役割分担において責任を有しつつ協力して円滑な管理運営の実現に資する状況にあることを想定している。

・教職協働の状況（別紙様式 3-4-1）

合議体名称	構成員（教員）	構成員（事務職員）	根拠規定
財務・マネジメント委員会	学長が指名する理事 統合進化科学研究センター長 附属図書館長 教育企画開発センター長 学術情報基盤センター長	事務局長 財務課長	財務・マネジメント委員会規程
人事委員会	理事又は副学長	事務局長 総務課長	人事委員会規程
学術情報基盤センター運営委員会	学術情報基盤センター長 運営会議委員（教員）	運営会議委員（事務職員）	総合研究大学院大学学術情報基盤センター運営委員会規程
附属図書館運営委員会	附属図書館長 運営会議委員（教員）	運営会議委員（事務職員）	総合研究大学院大学附属図書館運営委員会規程

合議体名称	構成員（教員）	構成員（事務職員）	根拠規定
附属図書館運営委員会電子資料専門部 会	附属図書館長 本部図書館長 各コースから推薦された基盤図書館 等の運用を統括する教員	附属図書館副館長 学術情報基盤事務室長	総合研究大学院大学附属図書館運営委 員会電子資料専門部会設置要項
個人情報保護委員会	総括保護管理者 統合進化科学コース長 統合進化科学研究センター長 教育企画開発センター長 学術情報基盤センター長	総括保護管理者補佐（事務局長） 事務局の課長及び室長	国立大学法人総合研究大学院大学個人 情報保護委員会規程
危機管理委員会	運営会議委員（教員）	運営会議委員（事務職員）	国立大学法人総合研究大学院大学にお ける危機管理に関する規則
国立大学法人総合研究大学院大学安全 衛生委員会規程	学長 学長が指名する理事又は副学長	衛生管理者 安全又は衛生に関して経験を有する 職員のうちから学長が指名した者	国立大学法人総合研究大学院大学安全 衛生管理規程 国立大学法人総合研究大学院大学安全 衛生委員会規程

基準 3-4 教員と事務職員等との役割分担が適切であり、これらの者の間の連携体制が確保され、能力を向上させる取組が実施されていること

分析項目 3-4-2 管理運営に従事する教職員の能力の質の向上に寄与するため、スタッフ・ディベロップメント（SD）を実施していること

【分析の手順】

・SDの実施内容・方法及び実施状況（参加状況を含む。）を確認する。

※大学が独自に実施する研修と、学外の団体が主催する合同研修の企画（例えば、国立大学協会の大学マネジメントセミナー、公立大学協会の公立大学職員セミナー）とを区別する。

※スタッフ・ディベロップメント（SD）とは、大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、職員（事務職員のみならず教員も含む。）を対象とした、必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けるとともに、その他必要な取組を行うことをいう。

・SDの内容・方法及び実施状況一覧（別紙様式 3-4-2）

取組	主催	実施内容・方法	対象者	参加者数
令和6年度東京地区及び関東・甲信越地区国立大学法人等係長研修	一般財団法人 国立大学協会	・講義「職場のメンタルヘルスケア」、「ハラスメント防止について」、「多様化する部下へのかかわり方」 ・グループワーク「係長とは」、「指導・教育のポイント」等 ・Zoomによるオンライン開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	1人
実践セミナー（広報の部）	一般財団法人 国立大学協会	・講演「ウェブアクセシビリティについて」 ・出席者による情報交換会 ・対面による開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	1人
実践セミナー（人事・労務・安全管理）	一般財団法人	・講義「今後の法改正等の動向」、「育児・介護休業法の	<input type="checkbox"/> 役員	2人

取組	主催	実施内容・方法	対象者	参加者数
の部)	国立大学協会	改正」、「ゼロ・ハラスメント実現のために」、「Well-being の実現に向けた環境整備」 ・ Zoom によるオンライン開催	<input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	
実践セミナー（財務の部）	一般財団法人 国立大学協会	・ 講義「国立大学法人の財務会計に関する最近の動向について」 ・ 講義及びディスカッション「予算・決算、契約、資産管理、旅費・謝金、その他の実務について」 ・ Zoom によるオンライン開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	1 人
国立大学法人等会計事務研修	一般財団法人 国立大学協会	・ 講義「国立大学法人制度・会計実務について」、「国立大学法人を巡る最近の動向について」、「予算執行の諸制度等」 ・ Teams によるオンライン開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	1 人
事務情報化推進研修 A （アプリケーションコース）	横浜国立大学	・ 講義および実技指導「Microsoft 365 基本コース」、「Excel 応用コース」、「Microsoft 365 Power Automate 基本コース」 ・ 対面による開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	2 人
関東甲信越地区大学安全衛生研究会	関東・甲信越地区大学安全衛生 研究会	・ 講演「国立 7 大学安全衛生管理担当者連絡協議会の活動報告」、「東京大学の化学物質の自律的管理対応状況」 ・ 全体議論 ・ Webex によるオンライン開催	<input checked="" type="checkbox"/> 役員 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	6 人
英語研修	総合研究大学院大学	・ 言語学習アプリ「Mondly by Pearson」を用いたリスニング・スピーキングの e ラーニング ・ 大学職員向け英文 Email のオンライン講座	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	3 人

取組	主催	実施内容・方法	対象者	参加者数
放送大学研修	総合研究大学院大学	・放送大学科目の履修「身近な統計」、「マーケティング」、「プログラミング入門Python」等	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	9人
パソコンスキル費用助成	総合研究大学院大学	・マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト (MOS) 資格及び VBA エキスパートの資格の取得に対し、テキスト費用 (1 回) 及び受験費用 (1 回) を大学が負担する。	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	11人
情報セキュリティコース	総合研究大学院大学	情報セキュリティリスクと対策に関する e-Learning 形式の研修。	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	102人
第22回 SD フォーラム	公益財団法人 大学コンソーシアム京都	・講演「これからの大学職員に求められる能力を考える」 ・分科会「自分だけの体験的職員論」、「各種調査の分析結果から考える、大学職員の『高度化』」 ・対面による開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	2人
国立大学法人等情報化要員研修	国立大学法人等情報化連絡協議会	・講義「Windows Server 2019/2022 サーバ構築・管理」、「仮想マシンサービスを中心に実践形式で学ぶ Microsoft Azure」他 ・Zoom によるオンライン開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	1人
第1回事務局 Round Table	総合研究大学院大学	・総務課長から提案された議題及び話題「総研大の強み・特色を考える～直近2大学における経験を踏まえて～」をもとに講義・グループ討議をした。 ・対面およびオンラインによるハイブリッド開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	約30人
第2回事務局 Round Table	総合研究大学院大学	・総合企画課長から提案された議題及び話題「国立大学-	<input type="checkbox"/> 役員	約30人

取組	主催	実施内容・方法	対象者	参加者数
		法人複数大学制度について-奈良国立大学機構の実情から考える」をもとに講義・グループ討議をした。 ・対面およびオンラインによるハイブリッド開催	<input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	
第3回事務局 Round Table	総合研究大学院大学	財務課長から提案された議題及び話題「国立大学法人全体と本学の財政状況等について」をもとに講義・グループ討議をした。 ・対面およびオンラインによるハイブリッド開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	約 30 人
第4回事務局 Round Table	総合研究大学院大学	学務課長から提案された議題及び話題「大学入学者選抜について」をもとに講義・グループ討議をした。 ・対面およびオンラインによるハイブリッド開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	約 30 人
本学事務職員と各基盤機関職員との意見交換会	総合研究大学院大学	総研大学院教育に関し各基盤機関から意見・要望のあった事項について取り上げ、意見交換を行った。 ・対面およびオンラインによるハイブリッド開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	32 人
公文書管理研修 I	独立行政法人国立公文書館	・公文書管理に関する法律の概要および公文書等の評価選別に関する基本についての講義 ・対面およびオンラインによるハイブリッド開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	28 人
公文書管理研修 II	独立行政法人国立公文書館	・公文書等の管理に関する関連法令の理解および公文書等の管理、保存及び利用に関する専門的な事項についての講義 ・対面およびオンラインによるハイブリッド開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	1 人
個人情報保護研修	IU-REAL	・講義「個人情報保護について」、「個人情報の保護に関する法律について」 ・演習「個人情報について考える」	<input type="checkbox"/> 役員 <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 事務職員	38 人

取組	主催	実施内容・方法	対象者	参加者数
		・対面およびオンラインによるハイブリッド開催		
安全保障輸出管理研修	IU-REAL (総合研究大学院大学)	・講義「輸出管理現場の運用取組」 ・オンライン開催	■役員 ■教員 ■事務職員	26 人
LGBTQ 研修	情報・システム研究機構	・講義「基礎知識」、「当事者の体験談」他 ・オンライン開催	□役員 □教員 ■事務職員	14 人
ハラスメント研修	総合研究大学院大学	・性暴力・セクハラのほか、アカハラ等のハラスメントの防止について理解を深め、ハラスメントのない教育研究環境の構築を図ることを目的としたセミナー。 ・2023 年度にオンラインにて開催し、2024 年度に録画を配信。	■役員 ■教員 ■事務職員	171 人
研究費等不正使用に関するコンプライアンス研修	総合研究大学院大学	・研究費等の不正使用の発生要因や実例、総研大における防止体制、不正使用が発生した場合の措置等に関するセミナー及び確認テスト ・対面開催（未受講者はオンライン上にアップロードした動画を視聴）	■役員 ■教員 ■事務職員	134 人
総合研究大学院大学附属図書館職員研修会	総合研究大学院大学附属図書館	・総研大図書館職員に必要な知識の習得と、日頃の業務遂行上の問題についての意見交換。外部講師による OA 化推進についての講演。 ・対面およびオンラインによるハイブリッド開催	□役員 □教員 ■事務職員	30 人
令和 6 年度 学生教育研究災害傷害保険説明会	公益財団法人 日本国際教育支援協会	・学生教育研究災害傷害保険制度の概要や現況報告、並びに、事務手続きに関する説明会。	□役員 □教員	1 人

取組	主催	実施内容・方法	対象者	参加者数
		・ 対面による開催	■ 事務職員	
令和 6 年度留学生住宅総合補償説明 会	公益財団法人 日本国際教育支援 協会	・ 外国人留学生のための「留学生住宅総合補償」の概要 や運用状況、並びに、事務手続きに関する説明会 ・ 対面による開催	<input type="checkbox"/> 役員 <input type="checkbox"/> 教員 ■ 事務職員	1 人

基準 3-6 大学の教育研究活動等に関する情報の公表が適切であること

分析項目 3-6-1 法令等が公表を求める事項を公表していること

【分析の手順】

- ・ 大学等の目的、学位授与方針、教育課程方針及び学生受入方針、その他法令が定める教育研究活動等についての情報を社会一般に対し、刊行物の配布・ウェブサイトへの掲載等の方法により広く公表していることを確認する。
- ・ 基幹教員制度を導入している場合は、「大学設置基準等の一部を改正する省令等の公布について（通知）」（令和4年9月30日付4文科高第963号高等教育局長通知）に記載されている関連の情報公表等が行われていることも確認する。
- ・ 法令が定める教育研究活動等についての情報の公表状況一覧（別紙様式3-6-1）
 - ※ 公表状況について、ウェブサイトで公表している場合はその情報が掲載されているウェブページが直接閲覧できる URL を記載してください。ウェブサイト以外で公表している場合は、URL ではなく具体的な公表方法を記載してください。
 - ※ 基幹教員制度を導入している場合は、「大学設置基準等の一部を改正する省令等の公布について（通知）」（令和4年9月30日付4文科高第963号高等教育局長通知）に記載されている関連の情報公表等について記載してください。（該当がない場合は、項目を削除してください。）

公表を求める事項	公表状況（刊行物、ウェブサイト（URL 等））
《学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項》	
教育情報 <input type="checkbox"/> 大学の目的 <input type="checkbox"/> 学位授与方針、教育課程方針、学生受入方針 <input type="checkbox"/> 教育研究上の基本組織 <input type="checkbox"/> 教育研究実施組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績 <input type="checkbox"/> 入学者の選抜に関すること <input type="checkbox"/> 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の	<ul style="list-style-type: none"> ■大学の目的（URL：https://www.soken.ac.jp/education/policy/） ■学位授与方針、教育課程方針、学生受入方針 （URL：https://www.soken.ac.jp/education/policy/） ■教育研究上の基本組織 （URL：https://www.soken.ac.jp/outline/organization/educational_research/） ■教育研究実施組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績

公表を求める事項	公表状況（刊行物、ウェブサイト（URL等））
<p>数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況並びに外国人留学生の数</p> <p><input type="checkbox"/> 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画</p> <p><input type="checkbox"/> 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準</p> <p><input type="checkbox"/> 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境</p> <p><input type="checkbox"/> 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用</p> <p><input type="checkbox"/> 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援</p>	<p>(URL : https://www.soken.ac.jp/outline/dbook/staff/)</p> <p>(URL : https://www.soken.ac.jp/faculty-directory/)</p> <p>■ 入学者の選抜に関すること</p> <p>(URL : https://www.soken.ac.jp/admission/general_admission/)</p> <p>■ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況並びに外国人留学生の数</p> <p>【入学者数】</p> <p>(URL : https://www.soken.ac.jp/outline/dbook/enrollment/)</p> <p>【学生定員・現員】</p> <p>(URL : https://www.soken.ac.jp/outline/dbook/students/)</p> <p>【修了者数】</p> <p>(URL : https://www.soken.ac.jp/outline/dbook/degree/)</p> <p>【修了生の進路】</p> <p>(URL : https://www.soken.ac.jp/outline/dbook/career/)</p> <p>【外国人留学生】</p> <p>(URL : https://www.soken.ac.jp/outline/dbook/international/)</p> <p>■ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画</p> <p>【授業科目】</p> <p>(URL : https://www.soken.ac.jp/education/curriculum/course/)</p> <p>【学年歴】</p> <p>(URL : https://www.soken.ac.jp/education/curriculum/academic_cal/)</p> <p>■ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準</p>

公表を求める事項	公表状況（刊行物、ウェブサイト（URL 等））
	<p>【成績評価基準】 (URL : https://www.soken.ac.jp/education/curriculum/Evaluation_Standards_of_Academic_Achievement/)</p> <p>【修了認定】 (URL : https://www.soken.ac.jp/education/curriculum/requirement/)</p> <p>■校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境 (URL : https://www.soken.ac.jp/outline/rules/educational_activities/ (学習環境に関する情報（第1項第7号関係）、校地・校舎等))</p> <p>■授業料、入学料その他の大学が徴収する費用 (URL : https://www.soken.ac.jp/campuslife/tuition/payment/)</p> <p>■大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援</p> <p>【就職支援】 (URL : https://www.soken.ac.jp/campuslife/career/)</p> <p>【学生相談・怪我・病気ときは】 (URL : https://www.soken.ac.jp/campuslife/healthcare/)</p>
<p>※基幹教員制度を導入している場合</p> <p><input type="checkbox"/> 基幹教員の数（専ら当該大学の教育研究に従事する基幹教員と、それ以外の基幹教員の内訳）</p> <p><input type="checkbox"/> 各基幹教員が有する学位</p> <p><input type="checkbox"/> 教育研究等の業績</p> <p><input type="checkbox"/> 教育課程の編成その他の学部の運営への参画の状況</p> <p><input type="checkbox"/> 主要授業科目の担当の有無や単位数の状況</p>	<p><input type="checkbox"/> 基幹教員の数（専ら当該大学の教育研究に従事する基幹教員と、それ以外の基幹教員の内訳） (URL :)</p> <p><input type="checkbox"/> 各基幹教員が有する学位 (URL :)</p> <p><input type="checkbox"/> 教育研究等の業績 (URL :)</p> <p><input type="checkbox"/> 教育課程の編成その他の学部の運営への参画の状況</p>

公表を求める事項	公表状況（刊行物、ウェブサイト（URL 等））
/	(URL :) <input type="checkbox"/> 主要授業科目の担当の有無や単位数の状況 (URL :)
《学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 2 項》	
専門職大学等及び専門職大学院を置く大学は、専門性が求められる職業に就いている者、当該職業に関連する事業を行う者その他の関係者との協力の状況についての情報	(URL :)
《学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 3 項》	
<input type="checkbox"/> 研究科、専攻又は学生の履修上の区分ごとの、当該大学院に入学した者のうち標準修業年限以内で修了した者の占める割合 <input type="checkbox"/> 学位授与の状況 <input type="checkbox"/> 学位論文に係る評価に当たっての基準	<input checked="" type="checkbox"/> 研究科、専攻又は学生の履修上の区分ごとの、当該大学院に入学した者のうち標準修業年限以内で修了した者の占める割合 (URL : https://www.soken.ac.jp/outline/dbook/degree/ (標準修業年限以内修了率等について)) <input checked="" type="checkbox"/> 学位授与の状況 (URL : https://www.soken.ac.jp/outline/dbook/degree/) <input checked="" type="checkbox"/> 学位論文に係る評価に当たっての基準 (URL : https://www.soken.ac.jp/education/degree/)
《学位規則第 8 条》	
博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨	(URL : https://ir.soken.ac.jp/?page=1&size=50&sort=-custom_sort&search_type=0&q=0)
《独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律施行令第 12 条》	
《その他情報公開に関する法令等、それぞれの設置形態別に定められた法令》	
財務諸表等	(URL : https://www.soken.ac.jp/outline/disclosure/financial/)
《学校教育法第 109 条第 1 項》	

公表を求める事項	公表状況（刊行物、ウェブサイト（URL等））
自己点検・評価の結果	(URL: https://www.soken.ac.jp/outline/plan_evaluation/self_inspection/)
《法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律第5条》	
<p>法科大学院の教育課程等の公表</p> <p><input type="checkbox"/> 法科大学院の教育課程並びに教育課程を履修する上で求められる学識及び能力</p> <p><input type="checkbox"/> 法科大学院における成績評価の基準及び実施状況</p> <p><input type="checkbox"/> 法科大学院における修了の認定の基準及び実施状況</p> <p><input type="checkbox"/> 法科大学院の課程を修了した者の進路に関する状況</p>	<p><input type="checkbox"/> 法科大学院の教育課程並びに教育課程を履修する上で求められる学識及び能力 (URL:)</p> <p><input type="checkbox"/> 法科大学院における成績評価の基準及び実施状況 (URL:)</p> <p><input type="checkbox"/> 法科大学院における修了の認定の基準及び実施状況 (URL:)</p> <p><input type="checkbox"/> 法科大学院の課程を修了した者の進路に関する状況 (URL:)</p>
《専門職大学院設置基準第20条の7》	
<p>法科大学院における情報の公表</p> <p><input type="checkbox"/> 入学者選抜における志願者及び受験者の数その他入学者選抜の実施状況に関すること</p> <p><input type="checkbox"/> 法科大学院に入学した者のうち標準修業年限以内で修了した者の占める割合及び年度当初に法科大学院に在籍した者のうち当該年度途中で退学した者の占める割合</p> <p><input type="checkbox"/> 法科大学院が開設する授業科目のうち基礎科目若しくは応用科目又は選択科目として開設するものの名称</p> <p><input type="checkbox"/> 授業料、入学料その他の法科大学院が徴収する費用及び修学に係る経済的負担の軽減を図るための措置に関すること</p> <p><input type="checkbox"/> 法科大学院に入学した者のうち法科大学院の教育と司法試験等との</p>	<p><input type="checkbox"/> 入学者選抜における志願者及び受験者の数その他入学者選抜の実施状況に関すること (URL:)</p> <p><input type="checkbox"/> 法科大学院に入学した者のうち標準修業年限以内で修了した者の占める割合及び年度当初に法科大学院に在籍した者のうち当該年度途中で退学した者の占める割合 (URL:)</p> <p><input type="checkbox"/> 法科大学院が開設する授業科目のうち基礎科目若しくは応用科目又は選択科目として開設するものの名称 (URL:)</p> <p><input type="checkbox"/> 授業料、入学料その他の法科大学院が徴収する費用及び修学に係る経済的</p>

公表を求める事項	公表状況（刊行物、ウェブサイト（URL 等））
<p>連携等に関する法律第 10 条第 1 号又は第 2 号に該当していた者それぞれの占める割合及びこれらの号に該当していた者（法科大学院の課程を修了した者又は同課程に在学する者に限る。）であって、司法試験法第 1 条第 1 項に規定する司法試験を受けたもののうち当該試験に合格したものの占める割合</p>	<p>負担の軽減を図るための措置に関すること (URL :) <input type="checkbox"/>法科大学院に入学した者のうち法科大学院の教育と司法試験等との連携等に関する法律第 10 条第 1 号又は第 2 号に該当していた者それぞれの占める割合及びこれらの号に該当していた者（法科大学院の課程を修了した者又は同課程に在学する者に限る。）であって、司法試験法第 1 条第 1 項に規定する司法試験を受けたもののうち当該試験に合格したものの占める割合 (URL :)</p>
<p>《H15 文科省告示第 53 号第 3 条第 2 項》</p>	
<p>法科大学院の未修者又は実務経験者の割合が 2 割に満たない場合には入学者選抜の実施状況</p>	<p>(URL :)</p>
<p>《教育職員免許法施行規則第 22 条の 6》</p>	
<p>認定課程を有する大学は、教員の養成の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること <input type="checkbox"/>教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること <input type="checkbox"/>教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること <input type="checkbox"/>卒業生の教員免許状の取得の状況に関すること <input type="checkbox"/>卒業生の教員への就職の状況に関すること <input type="checkbox"/>教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること (URL :) <input type="checkbox"/>教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること (URL :) <input type="checkbox"/>教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること (URL :) <input type="checkbox"/>卒業生の教員免許状の取得の状況に関すること (URL :) <input type="checkbox"/>卒業生の教員への就職の状況に関すること

公表を求める事項	公表状況（刊行物、ウェブサイト（URL 等））
	(URL :) <input type="checkbox"/> 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること (URL :)
《教育職員免許法施行規則第 22 条の 8》	
認定課程を有する大学は、当該大学における認定課程の教育課程、教員組織、教育実習並びに施設及び設備の状況について自ら行った点検及び評価の結果	(URL :)

基準 4-1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

分析項目 4-1-1 教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備を法令に基づき整備していること

【分析の手順】

- ・校地、校舎の基準面積について、設置基準で規定されている面積に係る基準を満たしていることを確認する。
- ・施設・設備としては、教育の必要に応じて、大学設置基準に規定されている校地、校舎、運動場等が備えられていることを確認する。
- ・教育課程に応じて講義・演習・実験・実習または実技を行うのに必要な教室を備えていることを確認する。
- ・継続的に研究成果を創出するための研究環境が整備され、教員・学生が効果的に利用できるような状態になっていることを確認する。
- ・基幹教員制度を導入している場合は、基幹教員及び専ら当該大学の教育研究に従事する教員に対して研究室を備えていることを確認する。
- ・共同課程を置いている場合は、その状況が該当する設置基準を満たしていることを確認する。
- ・夜間において授業を実施している課程又は大学院において大学院設置基準第 14 条の特例を適用している場合は、これら施設・設備の利用方法、利用時間等を確認する。
- ・2 以上のキャンパスで教育を実施している場合は、各々の実施体制、実施上の工夫や学生移動の状況等を確認する。
- ・夜間の授業又は 2 以上のキャンパスでの教育の実施状況一覧（別紙様式 4-1-1）

学部・研究科名	キャンパス	実施の状況（実施体制、利用時間等）
先端大学院先端学術専攻 （人類文化研究コース）	吹田キャンパス （国立民族学博物館）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端大学院先端学術専攻 （国際日本研究コース）	京都桂坂キャンパス （国際日本文化研究センター）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端大学院先端学術専攻 （日本歴史研究コース）	佐倉キャンパス （国立歴史民俗学博物館）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端大学院先端学術専攻	立川キャンパス	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。

学部・研究科名	キャンパス	実施の状況（実施体制、利用時間等）
（日本文学研究コース）	（国文学研究資料館）	
先端大学院先端学術専攻 （日本語言語科学コース）	立川キャンパス （国立国語研究所）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端大学院先端学術専攻 （情報学コース）	東京一ツ橋キャンパス （国立情報学研究所）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端大学院先端学術専攻 （統計科学コース）	立川キャンパス （統計数理研究所）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端大学院先端学術専攻 （素粒子原子核コース）	つくばキャンパス （高エネルギー加速器研究機構）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端大学院先端学術専攻 （加速器科学コース）	つくばキャンパス （高エネルギー加速器研究機構）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端大学院先端学術専攻 （天文学コース）	三鷹キャンパス （国立天文台）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端大学院先端学術専攻 （核融合科学コース）	土岐キャンパス （核融合科学研究所）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端大学院先端学術専攻 （宇宙科学コース）	相模原キャンパス （宇宙科学研究所）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端大学院先端学術専攻 （分子科学コース）	岡崎キャンパス （分子科学研究所）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端大学院先端学術専攻 （物質構造科学コース）	つくばキャンパス （高エネルギー加速器研究機構）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端大学院先端学術専攻 （総合地球環境学コース）	京都上賀茂キャンパス （総合地球環境学研究所）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。

学部・研究科名	キャンパス	実施の状況（実施体制、利用時間等）
先端学術院先端学術専攻 （極域科学コース）	立川キャンパス （国立極地研究所）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端学術院先端学術専攻 （基礎生物学コース）	岡崎キャンパス （基礎生物学研究所）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端学術院先端学術専攻 （生理科学コース）	岡崎キャンパス （生理学研究所）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端学術院先端学術専攻 （遺伝学コース）	三島キャンパス （国立遺伝学研究所）	大学院設置基準第 24 条第 2 項の規定に基づき、基盤機関の施設及び設備を共用。
先端学術院先端学術専攻 （統合進化科学コース）	葉山キャンパス（大学本部）	

基準 4-1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

分析項目 4-1-3 施設・設備における安全性について、配慮していること

【分析の手順】

- ・施設・設備における耐震化については、評価実施年度の耐震化率を確認する。
- ・耐震基準を満たしていない場合は、その理由と改善のための計画について確認する。
- ・施設・設備の老朽化に対する対応の状況について確認する。
- ・外灯や防犯カメラの設置等、各大学固有の事情等に応じて安全・防犯面への配慮がなされていることを確認する。
- ・施設・設備のバリアフリー化について、障害のある学生等の利用者が円滑に利用できるよう配慮がなされていることを確認する。
- ・その他施設・設備に法令上の要件が課されている場合は、適切な管理運営の状況を確認する。

・施設・設備の耐震化、バリアフリー化等の整備状況（別紙様式 4-1-3）

事項	キャンパス	整備状況(※主要なキャンパスごとの耐震化率を記載)	備考(整備不十分の場合の対応状況等)
耐震化	葉山キャンパス	<p>・建物の耐震化率は 100%である。</p> <p>※キャンパス内のすべての建物は 1995 年以後に竣工し、1981 年に施行された改正建築基準法による新耐震基準を満たしている。</p> <p>・2014 年度に建築基準法施行令の改正(特定天井の脱落対策に関する規定)及び国土交通省告示に定める吊り天井の技術基準に対応するため、共通棟 2 階講義室の特定天井(吊り天井)について耐震改修工事を実施した。</p> <p>・2022 年度に統合進化科学研究センター棟の外壁等劣化調査を行い外壁タイル等の非構造部材の剥落等の危険性の有無をも踏まえた調査結果を基に実施設計に反映し、2023 年 10 月に外壁改修を含めた同棟の長寿命化改修工事を契約締結し工事を実施した。また、2023 年 9 月に図書館の外壁等診断調査を行うなど、キャンパス内の各棟に対し順次診断調査を行い必要な改修等措置について整備年次計画へフィードバックさせていく。</p>	
バリアフリー化	葉山キャンパス(大学本部)	<p>・キャンパス内のすべての棟に身障者用のトイレ、エレベーターを設置済。</p> <p>・2022 年 4 月に共通棟、統合進化科学研究センター棟、図書館の身障者用トイレに設置する緊急時通報装置の動作点検を実施した。また、同年 5 月に共通棟別館の身障者用トイレに緊急呼出装置を新設。今後も緊急時における安全管理上の予防保</p>	

事項	キャンパス	整備状況(※主要なキャンパスごとの耐震化率を記載)	備考(整備不十分の場合の対応状況等)
		<p>全の観点から、日常的な維持管理、点検を継続的に行っていく。</p> <p>・構内の駐車場の 2 区画を身障者用の駐車スペースとして設置し、各棟の正面玄関に至る導線にスロープの設置等により移動の円滑化を図っている。</p> <p>・キャンパス内の各棟に繋がる連絡通路の段差箇所について、2020 年度に共通棟 1 階から図書館棟に繋がる連絡通路前の床面補修工事を行うなど、段階的にキャンパス内のバリアフリー化に向けた整備実施を進めていく予定である。</p>	
耐震化	吹田キャンパス (国立民族学博物館)	構造部分の耐震化 100%	
バリアフリー化	吹田キャンパス (国立民族学博物館)	<p>スロープ、身障者用トイレ、エレベーター、自動ドア、身障者用駐車場、点字ブロック等を整備している。</p> <p>バリアフリー情報をホームページで公開し周知している。</p> <p>公開 URL: https://www.minpaku.ac.jp/information/barrier_free</p>	
老朽化	吹田キャンパス (国立民族学博物館)	施設・設備点検を定期的実施しており、外壁や外構等の劣化箇所の補修を速やかに行うとともに、空調、照明、給排水、受変電、防災設備等ライフラインの更新・改修を逐次実施している。	
耐震化	京都桂坂キャンパス (国際日本文化研究センター)	100% 全て新耐震基準(昭和 56 年制定)以降の建物である。	
バリアフリー化	京都桂坂キャンパス (国際日本文化研究センター)	構内に車いす使用者駐車施設(2 台分)、主要建物には、スロープ、エレベータ、バリアフリートイレを整備し、障害者等へ配慮をしている。	
老朽化	京都桂坂キャンパス (国際日本文化研究センター)	全建物・設備について、定期的な巡回点検を実施し、点検に置いて発見された老朽箇所や不具合については、迅速に修繕・改修を行っている。	
耐震化	佐倉キャンパス (国立歴史民俗学博物館)	耐震化 100%	
バリアフリー化	佐倉キャンパス (国立歴史民俗学博物館)	<p>スロープ(一部設置)、身障者用トイレ、エレベータ、自動ドア、身障者用駐車場、点字ブロック(一部設置)、おむつ交換台等を整備している。</p> <p>バリアフリー状況をホームページで公開し周知している。</p> <p>公開 URL: https://www.rekihaku.ac.jp/information/facilities.html</p>	
老朽化	佐倉キャンパス (国立歴史民俗学博物館)	全学的な施設・設備点検を定期的実施しており、屋上防水、外壁、外構等の劣化箇所の補修を速やかに行うとともに、空調、照明、給排水、受変電、防災設備等ライ	

事項	キャンパス	整備状況(※主要なキャンパスごとの耐震化率を記載)	備考(整備不十分の場合の対応状況等)
		ラインの更新・改修を逐次実施している。 インフラ長寿命化(個別施設計画)に基づき、計画的に整備を行っている。	
耐震化	立川キャンパス (国文学研究資料館)	総合研究棟:100% 総合研究棟は建物自体が免震構造を有している。	
バリアフリー化	立川キャンパス (国文学研究資料館)	竣工当初から、身障者用トイレ、エレベータ、自動ドア、身障者用駐車場、点字ブロック等を整備している。	
老朽化	立川キャンパス (国文学研究資料館)	全学的な施設・設備点検を定期的に行っており、空調、照明、給排水、受変電、防災設備等ライフラインの更新・改修を計画・実施している。	
耐震化	立川キャンパス (国立国語研究所)	耐震化100% 2019年度に軽量天井へ改修済 書架等は、床・壁への固定を行っている	
バリアフリー化	立川キャンパス (国立国語研究所)	所内案内表示等に点字を設置、所内通路へ点字ブロックを設置 各階に身体障がい者用トイレを完備	
老朽化	立川キャンパス (国立国語研究所)	定期点検、保全整備を実施しており、老朽度合に応じ逐次更新している	
耐震化	東京一ツ橋キャンパス (国立情報学研究所)	耐震化100%	
バリアフリー化	東京一ツ橋キャンパス (国立情報学研究所)	スロープ、身障者用トイレ、身障者用エレベータ、自動ドア、身障者用駐車場、点字ブロック等を整備している。	
老朽化	東京一ツ橋キャンパス (国立情報学研究所)	全所的な施設・設備点検を定期的に行っており、空調、照明、給排水、受変電、防災設備等ライフラインの更新・改修を逐次実施している。	
耐震化	立川キャンパス (統計数理研究所)	耐震化100% 構内の建物は全て平成19年度以降に完成しているため全ての建物が新耐震基準を満たしている。また非構造部材の耐震化についても令和元年度に完了している。	
バリアフリー化	立川キャンパス (統計数理研究所)	身障者用トイレ、エレベータ、自動ドア、身障者用駐車場、身障者用居室(ゲストハウス)等を整備している。	
老朽化	立川キャンパス (統計数理研究所)	施設、設備の点検・保守業務を実施しており、空調、照明、給排水、防災設備等ライフラインの修繕・改修を逐次実施している。屋上防水・外壁改修を老朽化度合いに応じ順次実施している。	

事項	キャンパス	整備状況(※主要なキャンパスごとの耐震化率を記載)	備考(整備不十分の場合の対応状況等)
耐震化	つくばキャンパス (高エネルギー加速器研究機構)	つくばキャンパス 100% 東海キャンパス 100%	
バリアフリー化	つくばキャンパス (高エネルギー加速器研究機構)	KEK では、事務局のある管理棟や図書館のある研究本館など主要な建物にスロープ、自動ドア、多目的トイレを整備している。ほか、実験研究施設等の建物の一部においてもスロープ、多目的トイレなどを設置している。	
老朽化	つくばキャンパス (高エネルギー加速器研究機構)	機構全体で施設・設備点検を定期的に行っており、外壁や外構等の劣化箇所の補修を速やかに行うとともに、空調、照明、給排水、受変電、防災設備等ライフラインの更新・改修を逐次実施している。	
耐震化	三鷹キャンパス (国立天文台)	100%	
バリアフリー化	三鷹キャンパス (国立天文台)	全ての事務・研究棟について、スロープ、身障者用トイレ、エレベータ、自動ドア、身障者用駐車場等を整備している。	
老朽化	三鷹キャンパス (国立天文台)	施設・設備点検を随時実施しており、空調設備、屋上防水、照明、防災設備等ライフラインの更新・改修を逐次実施している。	
耐震化	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	100% 全棟竣工時から新耐震基準による設計。	
バリアフリー化	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	研究室、講義室のある棟はバリアフリー渡り廊下で接続、身障者用トイレ、エレベータ、自動扉、身障者用駐車場を整備。実験棟にはスロープ、エレベータを整備している。	
老朽化	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	文科省 H27 年通達「学校施設の非構造部材の耐震化(耐震点検の実施)」に基づいた点検、衛生巡視、安全巡視、各設備の日常点検・法令点検を行い、不具合・劣化箇所の把握をし、随時補修・計画を行っている。	
耐震化	相模原キャンパス (宇宙科学研究所)	100%	
バリアフリー化	相模原キャンパス (宇宙科学研究所)	スロープ、身障者用トイレ、エレベータ、自動ドア、身障者用駐車場等を整備している。	
老朽化	相模原キャンパス (宇宙科学研究所)	キャンパス全体の施設・設備点検を定期的に行っており、外壁や外構等の劣化箇所の補修を速やかに行うとともに、空調、照明、給排水、受変電、防災設備等ライフラインの更新・改修を逐次実施している。	

事項	キャンパス	整備状況(※主要なキャンパスごとの耐震化率を記載)	備考(整備不十分の場合の対応状況等)
耐震化	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	明大寺Aキャンパス:100% 明大寺Bキャンパス:100% 山手キャンパス:100%	
バリアフリー化	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	スロープ、身障者用トイレ、エレベータ、自動ドア、身障者用駐車場等を整備している。	
老朽化	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	全学的な施設・設備点検を定期的に行っており、外壁や外構等の劣化箇所の補修を速やかに行うとともに、空調、照明、給排水、受変電、防災設備等ライフラインの更新・改修を逐次実施している。	
耐震化	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	耐震化100% 現行の耐震基準に基づき設計・施工された建物である。	
バリアフリー化	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	身障者用駐車場、多目的トイレ設置、点字ブロック整備、正門インターホン設置	
老朽化	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	法定点検や日常点検等により劣化状況を把握し、適宜修繕している。	
耐震化	立川キャンパス (国立極地研究所)	耐震化100% 構内の建物は全て平成19年度以降に完成しているため全ての建物が新耐震基準を満たしている。また非構造部材の耐震化についても令和元年度に完了している。また、以下の障害学生支援機器について購入・配置済。 ・昇降式リハビリテーブル ・自走式車椅子 ・ポータブルスロープ ・階段避難車 ・エアーストレッチャー	
バリアフリー化	立川キャンパス (国立極地研究所)	身障者用トイレ、エレベータ、自動ドア、身障者用駐車場、身障者用居室(ゲストハウス)等を整備している。	
老朽化	立川キャンパス (国立極地研究所)	施設、設備の点検・保守業務を実施しており、空調、照明、給排水、防災設備等ライフラインの修繕・改修を逐次実施している。屋上防水・外壁改修を老朽化度合いに応じ順次実施している。	
耐震化	三島キャンパス	主要建物の耐震化率100%	

事項	キャンパス	整備状況(※主要なキャンパスごとの耐震化率を記載)	備考(整備不十分の場合の対応状況等)
	(国立遺伝学研究所)		
バリアフリー化	三島キャンパス (国立遺伝学研究所)	スロープ、廊下・階段照明のセンサー化、階段手摺、身障者用トイレ(一部)、車いす対応エレベータ、自動ドア、身障者用駐車場の整備	
老朽化	三島キャンパス (国立遺伝学研究所)	整備計画を立て、築年度順に計画的な建物改修を行うとともに、空調、照明、給排水、受変電、防災設備等ライフラインの更新・改修を逐次実施。	

・安全・防犯面への配慮の状況(別紙様式 4 - 1 - 3)

事項	キャンパス	配慮の状況
出入管理システム	葉山キャンパス(大学本部)	キャンパス内のすべての棟の出入口、施設内における防犯上必要な箇所は、IC カードによる認証機能を用いた出入管理システムによる入退館の制御機器を順次増設・更新を行っている。
防犯カメラ	葉山キャンパス(大学本部)	一般者等の来訪がある共通棟、図書館棟の正面玄関について、平日の解錠時間帯においては、各 1 基(計 2 基)設置する防犯カメラによる安全管理上の必要な措置を行っている。
外灯の設置	葉山キャンパス(大学本部)	構内における夜間の安全・防犯対策を目的に、継続的に外灯、庭園灯等の増設・更新等の整備を実施している。 (2024 年 12 月 1 日現在におけるキャンパス敷地内における外灯の設置数は、計 33 基。)
外灯の設置	吹田キャンパス (国立民族学博物館)	構内及び周辺道路に必要な外灯を設置している。
防犯カメラの設置	吹田キャンパス (国立民族学博物館)	展示場、各ゲート、研究部、管理部等に必要な防犯カメラを設置している。
入退室管理設備	吹田キャンパス (国立民族学博物館)	学生証及び職員証(IC カード)によりセキュリティが求められる扉の開閉が可能となっている。 入退館時に、1 階守衛口にて、入館及び退館時刻を記入している。
AED の設置	吹田キャンパス (国立民族学博物館)	ホームページにて AED の設置場所を公開し、周知している。
ハザードマップの作成	吹田キャンパス (国立民族学博物館)	災害時の安全確保を目的にハザードマップを含むマニュアルを作成している。
外灯の設置	京都桂坂キャンパス (国際日本文化研究センター)	構内及び周辺道路に必要な外灯を設置している。
防犯カメラの設置	京都桂坂キャンパス (国際日本文化研究センター)	構内への進入門、及び情報・管理棟他、所内各所に防犯カメラを設置している。
機械警備の設置	京都桂坂キャンパス (国際日本文化研究センター)	全建物に機械警備システムを設置し、夜間の警戒と、非常時の駆付け体制を整えている。

事項	キャンパス	配慮の状況
人的警備	京都桂坂キャンパス (国際日本文化研究センター)	24 時間体制で警備員が常駐し、防犯体制を整えている。
入室管理設備	京都桂坂キャンパス (国際日本文化研究センター)	IC カードにより建物内主要部分入口扉の開錠が可能となっている。
AED の設置	京都桂坂キャンパス (国際日本文化研究センター)	AED を設置し、緊急事態に備えている。
外灯の設置	佐倉キャンパス (国立歴史民俗学博物館)	構内及び周辺道路に必要な外灯を設置している。
防犯カメラの設置	佐倉キャンパス (国立歴史民俗学博物館)	ゲート、研究棟、管理棟、等に必要な防犯カメラを設置している。
入退室管理	佐倉キャンパス (国立歴史民俗学博物館)	警備員により入退室のチェックを行っている。
AED の設置	佐倉キャンパス (国立歴史民俗学博物館)	管理棟、研究棟、等に AED を設置し、防災訓練の際に使用方法の講習等を受けている。
危機管理マニュアルの作成	佐倉キャンパス (国立歴史民俗学博物館)	災害時の安全確保を目的にハザードマップ等が記載された危機管理マニュアルを作成している。
外灯の設置	立川キャンパス (国文学研究資料館)	構内及び周辺道路に必要な外灯を設置している。
防犯カメラの設置	立川キャンパス (国文学研究資料館)	総合研究棟内に必要な防犯カメラを設置している。
入退室管理設備	立川キャンパス (国文学研究資料館)	入退室カード(IC カード)により総合研究棟内研究室等の開閉が可能となっている。
AED の設置	立川キャンパス (国文学研究資料館)	総合研究棟内に 2 箇所、及び警備室にて AED を設置している。
入退室管理システム	立川キャンパス (国立国語研究所)	すべての出入口及び研究室は IC カードによる出入管理システムによる施開錠となっており、入退室は入退室管理システムで管理している
防犯カメラの設置	立川キャンパス (国立国語研究所)	構内要所、研究図書室及びコンピュータ室に設置
AED の設置	立川キャンパス	1 階ロビーに設置

事項	キャンパス	配慮の状況
	(国立国語研究所)	
外灯の設置	立川キャンパス (国立国語研究所)	構内要所に設置
警備員の配置	立川キャンパス (国立国語研究所)	夜間及び休日は、常時警備員が防犯カメラの監視を行っている
防犯カメラの設置	東京一ツ橋キャンパス (国立情報学研究所)	建物の出入り口等に必要な防犯カメラを設置している。
入退室管理設備	東京一ツ橋キャンパス (国立情報学研究所)	学生証及び職員証(IC カード)により構内建物入口扉の開閉が可能となっている。
AED の設置	東京一ツ橋キャンパス (国立情報学研究所)	建物内に複数個の AED を設置している。
外灯の設置	立川キャンパス (統計数理研究所)	構内及び周辺道路に必要な外灯を設置している。
防犯カメラの設置	立川キャンパス (統計数理研究所)	各建物、駐車場等に必要な防犯カメラを設置している。
入退室管理設備	立川キャンパス (統計数理研究所)	IC カードにより構内建物入口扉の開閉が可能となっている。
AED の設置	立川キャンパス (統計数理研究所)	AED の設置場所を公開し、周知している。
外灯の設置	つくばキャンパス (高エネルギー加速器研究機構)	構内及び周辺道路に必要な外灯を設置している。
防犯カメラの設置	つくばキャンパス (高エネルギー加速器研究機構)	各ゲート、構内要所に必要な防犯カメラを設置している。
入退室管理設備	つくばキャンパス (高エネルギー加速器研究機構)	職員証(IC カード)により構内建物入口扉の開閉が可能となっている。
AED の設置	つくばキャンパス (高エネルギー加速器研究機構)	ホームページにて AED の設置場所を公開し、周知している。
ハザードマップの作成	つくばキャンパス (高エネルギー加速器研究機構)	災害時の安全確保を目的に同マップを作成している。

事項	キャンパス	配慮の状況
防犯カメラの設置	三鷹キャンパス (国立天文台)	敷地入口、駐車場付近などに防犯カメラを設置している。
入退室管理設備	三鷹キャンパス (国立天文台)	職員証もしくはカードキーにより各事務・研究棟入口扉の開閉が可能となっている。
AED の設置	三鷹キャンパス (国立天文台)	AED の設置場所を台内向け web ページにて公開し、周知している。
避難経路の周知	三鷹キャンパス (国立天文台)	災害時の安全確保を目的に、緊急時の避難経路を台内向け web ページにて周知している。
外灯の設置	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	構内及び周辺道路に必要な LED 外灯を設置している。
防犯カメラの設置	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	各ゲートや研究棟、管理棟等に必要な防犯カメラを設置し、門衛所にて記録確認している。
入退室管理設備	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	警備員駐在の玄関以外は IC カードにより建物扉及び一部エリアのゲート開閉が可能となっている。
AED の設置	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	構内4か所に AED を設置し、設置場所は所内ホームページ及び安全ハンドブックに記載している。
ハザードマップの作成	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	防災意識向上、災害時の行動目標設定の為にハザードマップを作成し、ホームページで公開している。
震災時行動情報携帯カードの作成	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	緊急、災害時に備えて常に携行できる災害情報ツールを記載した、A4 を名刺サイズにした携帯カードを支給している
外灯の設置	相模原キャンパス (宇宙科学研究所)	構内及び周辺道路に必要な外灯を設置している。
防犯カメラの設置	相模原キャンパス (宇宙科学研究所)	キャンパス入口に防犯カメラを設置している。
入室管理設備	相模原キャンパス (宇宙科学研究所)	学生証及び職員証(IC カード)により構内建物入口扉の開閉が可能となっている。
AED の設置	相模原キャンパス (宇宙科学研究所)	内部ホームページにて AED の設置場所を公開し、周知している。
救急箱の設置	相模原キャンパス	内部ホームページにて救急箱の設置場所を公開し、周知している。

事項	キャンパス	配慮の状況
	(宇宙科学研究所)	
外灯の設置	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	構内及び周辺道路に必要な外灯を設置している。
防犯カメラの設置	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	各ゲート、研究棟、管理棟、等に必要な防犯カメラを設置している。
入退室管理設備	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	入構証(IC カード)により構内建物入口扉の開閉が可能となっている。
AED の設置	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	ホームページにて AED の設置場所を公開し、周知している。
避難経路図	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	災害時の安全確保を目的に避難経路図をホームページに掲載している。
外灯の設置	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	構内に必要な外灯を設置している。
防犯カメラの設置	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	各ゲート、構内要所に必要な防犯カメラを設置している。
入退室管理システム	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	出入口に IC カードによる出入管理システムを導入。
AED の設置	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	複数箇所に設置
外灯の設置	立川キャンパス (国立極地研究所)	構内及び周辺道路に必要な外灯を設置している。
防犯カメラの設置	立川キャンパス (国立極地研究所)	各建物、駐車場等に必要な防犯カメラを設置している。
入退室管理設備	立川キャンパス (国立極地研究所)	IC カードにより構内建物入口扉の開閉が可能となっている。
AED の設置	立川キャンパス (国立極地研究所)	AED の設置場所を公開し、周知している。
外灯の設置	三島キャンパス (国立遺伝学研究所)	構内及び周辺道路に必要な外灯を設置している。

事項	キャンパス	配慮の状況
防犯カメラの設置	三島キャンパス (国立遺伝学研究所)	各ゲート、研究員宿泊施設、管理棟等に必要な防犯カメラを設置している。
入退室管理設備	三島キャンパス (国立遺伝学研究所)	入館カード(IC カード)により構内建物入口扉の開閉が可能となっている。
AED・担架の設置	三島キャンパス (国立遺伝学研究所)	AED・担架を所内に設置し、所内ホームページにて設置場所を公開し周知している。

基準 4-1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

分析項目 4-1-6 自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること

【分析の手順】

- ・自主的学習環境の整備状況（部屋数、机、パソコン等の台数等）については、その環境を必要とする学生が効果的に利用できるような状態になっていることを確認する。

※自主的学習環境の整備等、特色ある学習環境の構築により成果が得られている場合は、その内容について確認する。

- ・自主的学習環境整備状況一覧（別紙様式 4-1-6）

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
1階ラウンジ	葉山キャンパス 統合進化科学研究センター棟	22席	ホワイトボード	24時間 365日利用可
1階セミナールーム	葉山キャンパス 統合進化科学研究センター棟	16席	ホワイトボード、スクリーン付きプロジェクター	24時間 365日利用可
2階ラウンジ	葉山キャンパス 統合進化科学研究センター棟	17席	ホワイトボード	24時間 365日利用可
3階ラウンジ	葉山キャンパス 統合進化科学研究センター棟	26席	ホワイトボード	24時間 365日利用可
3階セミナー室	葉山キャンパス 統合進化科学研究センター棟	30席	ホワイトボード、スクリーン付きプロジェクター	24時間 365日利用可
3階ディスカッションスペース	葉山キャンパス 統合進化科学研究センター棟	14席	ホワイトボード、モニター、AOプリンター、大型スキャナー、製本機等	24時間 365日利用可

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
院生室	葉山キャンパス 統合進化科学研究センター棟	1 席／人	1 名につき 1 台ノート PC を貸与、プリンター	24 時間 365 日利用可
作業室	吹田キャンパス (国立民族学博物館)	18 席	PC 9 台(うち基盤機関レンタル 7 台)、プリンタ 4 台、スキャナー 6 台、製本機 1 台	原則 8:30~21:30
演習室(第 1~第 4)	吹田キャンパス	各部屋 15 席程度		平日 8:30~17:15 館内予約システムからの事前予約が必要
個人用専用机(院生室)	(国立民族学博物館)	1 席／人 以上(全 45 席)	パソコン 3 台(うち基盤機関レンタル PC2 台)、プリンタ 3 台、スキャナー 5 台	原則 8:30~21:30
院生室(計 2 室)	京都桂坂キャンパス (国際日本文化研究センター)	計 29 席	机、書棚、プリンター、PC	平日土日祝日 8:30~22:00
共同研究室及びセミナー室(計 8 室)	京都桂坂キャンパス (国際日本文化研究センター)	合計 240 席程度	机、椅子、プロジェクター、スクリーン、PC、討議用音響システム、オンライン会議用 PC、オンライン会議用音響システム、オンライン会議用カメラシステム	平日土日祝日 8:30~22:00
院生研究室	佐倉キャンパス (国立歴史民俗学博物館)	18 席	(院生各自に割り当て) 机、椅子、書棚、メールボックス、PC (共用) PC2台、大型プリンター1台、コピー機 1 台、文献等複写設備 1 台、参考図書書棚、作業スペース	特に利用時間の制限は設けていない。

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
入館者用図書室	佐倉キャンパス (国立歴史民俗学博物館)	16 席	閲覧スペース コピー機 1 台、蔵書検索PC2台	博物館開館日の 9時から17時(3~9月) 9時30分から16時30分(10~2月)
研究者用図書室	佐倉キャンパス (国立歴史民俗学博物館)	13 席	閲覧スペース コピー機 2 台、マイクロフィルムリーダー1台、蔵書検索PC2台	月曜日から金曜日の9時から17時 事前に申請・登録することにより、時間外の利用も可。
院生図書室	立川キャンパス (国文学研究資料館)	16 席	検食用PC、マイクロフィルム投影機	指定なし
院生室	立川キャンパス (国文学研究資料館)	20 席	机、ロッカー、書棚、PC、液晶モニタ、 スキャナー3種、プリンター、裁断機、 製本機	指定なし
講義室1	立川キャンパス (国文学研究資料館)	4席	大型液晶モニタ、プロジェクタ、ホワイトボード	指定なし
講義室2	立川キャンパス (国文学研究資料館)	6席	大型液晶モニタ、プロジェクタ、ホワイトボード、プリンター	指定なし
講義室3	立川キャンパス (国文学研究資料館)	12 席	大型液晶モニタ、プロジェクタ、ホワイトボード	指定なし
Sala di Umanista	立川キャンパス (国文学研究資料館)	16 席	応接セット、テレビ	指定なし
図書館閲覧室	立川キャンパス (国文学研究資料館)	79 席	大型書籍閲覧テーブル、複写機	平日 9:30~18:00、土曜日 9:30~17:00
大学院生室	立川キャンパス (国立国語研究所)	12 席	ネットワークプリンタ	出入りは 24 時間可能

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
研究図書室	立川キャンパス (国立国語研究所)	24 席	複写機、PC	9:00~17:30(有人)、17:30~22:00(無人)
セミナー室	立川キャンパス (国立国語研究所)	16 席	プロジェクター、プラズマディスプレイ	出入りは 24 時間可能
バーチャルラボ(12 室)	東京一ツ橋キャンパス (国立情報学研究所)	計 346 席	個別ブース	終日利用可能
セミナー室(3 室)	東京一ツ橋キャンパス (国立情報学研究所)	計 28 席	液晶プロジェクタ、スクリーン	終日利用可能
指導室(1 室)17F	東京一ツ橋キャンパス (国立情報学研究所)	13 席	液晶プロジェクタ、スクリーン	終日利用可能
図書室(1 室)	東京一ツ橋キャンパス (国立情報学研究所)	10 席	個別ブース	終日利用可能
学生研究室	立川キャンパス (統計数理研究所)	40 席	複合機 1 台、デスク 36 席、本棚 22 台、ロッカー22 台	終日利用可能ただし、平日 22 時以降及び休日の利用は事前に許可が必要
院生セミナー室	つくばキャンパス (高エネルギー加速器研究機構)	20 席	TV 会議システム、プロジェクター	原則として、8:00~21:00
講義室	つくばキャンパス (高エネルギー加速器研究機構)	4 席	大型液晶モニタ、プロジェクター	指定なし
図書閲覧室	つくばキャンパス (高エネルギー加速器研究機構)	70 席	大型書籍閲覧テーブル、複写機	平日 9:30~18:00 土曜日 9:30~17:00

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
加速器科学コース 個人用専用机 (所属研究室)	つくばキャンパス (高エネルギー加速器研究機構)	1 席/人	パソコン等	常時
国立天文台 三鷹キャンパス すばる棟院生セミナー室	三鷹キャンパス (国立天文台)	20 席	TV会議システム、プロジェクター	原則として、8:00~21:00
三鷹キャンパス 天文科学コース個人用専用机(所属研究室内)	三鷹キャンパス (国立天文台)	38 席 ※学生数に応じて必要数を用意	机・本棚・パソコン等	24 時間
水沢キャンパス 天文科学コース個人用専用机(所属研究室内)	三鷹キャンパス (国立天文台)	1 席 ※学生数に応じて必要数を用意	机・本棚・パソコン等	24 時間
ハワイキャンパス 天文科学コース個人用専用机(所属研究室内)	三鷹キャンパス (国立天文台)	2 席 ※学生数に応じて必要数を用意	机・本棚・パソコン等	24 時間
図書室	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	26 席	机・複写機・製本機・裁断機・ロッカー・AV個室	24 時間(図書室職員の対応は、平日 9:00~17:00)
大学院生室(10 室)	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	60 席	机・キャビネット等	24 時間
セミナー室(10 室)	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	—	机・プロジェクター・スクリーン	24 時間
打合せ室(3 室)	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	—	机・プロジェクター・スクリーン	24 時間
会議室(4 室)	土岐キャンパス	—	机・プロジェクター・スクリーン	24 時間

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
	(核融合科学研究所)			
ヒューマンオアシス(8室)	土岐キャンパス (核融合科学研究所)	一	机	24 時間
自習室	先端学術院先端学術専攻 (宇宙科学コース)	23 席	机、パソコン	24 時間利用
セミナー室 分子科学研究所 研究棟 112 室	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	16 席	TV 会議システム	原則 8:00~20:00 : 予約制
セミナー室 分子科学研究所 研究棟 201 室	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	65 席	プロジェクタ、ホワイトボード	原則 8:00~20:00 : 予約制
セミナー室 分子科学研究所 研究棟 301 室	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	51 席	プロジェクタ、TV 会議システム	原則 8:00~20:00 : 予約制
講義室 分子科学研究所 研究棟 302 室	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	16 席	プロジェクタ、ホワイトボード	原則 8:00~20:00 : 予約制
談話室 分子科学研究所 研究棟 202 室	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	8 席、ソファ席 4 席	ビデオ会議システム	原則 8:00~20:00 : 予約制
休養室 分子科学研究所 南実験棟 212 室	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	4 席、ソファ席 3 席		9:00~17:00 : 予約席(ID 登録必要)
会議室 分子科学研究所 山手 4 号館 3 階 301 室	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	20 席	プロジェクタ、ホワイトボード	原則 8:00~20:00 : 予約制
セミナー室/会議室(複数室あり) 基礎生物学研究所	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	14~80 人	プロジェクタ、マイク等	常時(予約)
データ統合解析室端末室 基礎生物学研究所	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	4 席	パソコン、スキャナ、大判プリンタ	常時

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
大学院生ミーティングルーム (基礎生物学研究所・明大寺)基礎 生物学研究所	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	10 席	大型モニタ、ホワイトボード	常時
大学院生ミーティングルーム (基礎生物学研究所・山手) 基礎生 物学研究所	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	8 席	ホワイトボード、プロジェクタ、パソコン ディスプレイ	常時
生理科学コース 個人用専用机(所属研究室) 生理 学研究所	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	1 席/人	PC 等	常時
セミナー室・講義室 生 理 学 研 究 所 研 究 棟 161,163,153 室	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	~48 人	プロジェクタ、マイク等	常時(要予約)
大学院生室 生理学研究所 研究 棟 265 室	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	~10 人	テーブル 2、机 1、大型モニター、ホワ イトボード	常時
ディスカッションルーム 生理学研究 所 研究棟 144 室	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	25 席程度	大型モニター、ホワイトボード、テーブ ル等	常時
男性用休養室、女性用休養室 生理学研究所 研究棟 219,267 室	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	~15 席	ベッド、テーブル、ソファ、シャワー室等	常時
女性用休養室 生理学研究所 山手キャンパス 0205 室	岡崎キャンパス (分子科学研究所)			常時
展望室 生理学研究所 山手キャンパス 9 階	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	5 席	テーブル、イス	常時

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
個室 岡崎情報図書館	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	9 室	机、椅子等	常時
職員会館	岡崎キャンパス (分子科学研究所)	イス席、ソファ席	テーブル、給湯機、電子レンジ等	平日 7 時～22 時
総研大大学院生室	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	8 席(うち、4席占有残り4席自由席)	机、電灯、Wifi 及び有線 LAN、複合機	24 時間利用可
セミナー室1・2(講義室)	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	42	プロジェクター、オンライン会議用機器	24 時間利用可
セミナー室3・4(講義室)	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	54	プロジェクター、音声機器、オンライン会議用機器	24 時間利用可
セミナー室5(講義室)	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	27	プロジェクター、オンライン会議用機器	24 時間利用可
講演室(講義室)	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	100	プロジェクター、音声機器	24 時間利用可
インキュベーション会議室1(講義室)	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	12	プロジェクター	24 時間利用可
インキュベーション会議室2(講義室)	京都上賀茂キャンパス (総合地球環境学研究所)	16	モニター、オンライン会議用機器	24 時間利用可
学生研究室・プロジェクト研究室	立川キャンパス (国立極地研究所)	38 席	机・プリンター等	9:00-18:00
学生が所属する研究室	三島キャンパス (国立遺伝学研究所)	学生の数以上	学生 1 名につきパソコン 1 台以上	適宜必要な時間

基準 4 - 2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること

分析項目 4 - 2 - 1 学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備していること

【分析の手順】

- ・生活支援等に関する総合的相談・助言体制の整備及び支援の実績を確認する。
 - ・健康に関する相談・助言体制の整備及び支援の実績を確認する。
 - ・就職等進路に関する相談・助言体制の整備及び支援の実績を確認する。
 - ・各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談の体制の整備及び相談実績を確認する。
 - ・各種相談・助言体制については、組織の役割、実施組織の人的規模やバランス、組織間の連携や意思決定プロセス、責任の所在等が確認できる資料・データを用いて整備状況を確認する。
- ・相談・助言体制等一覧（別紙様式 4 - 2 - 1）

機能	組織の名称	根拠規定	配置された 人員	支援の内容	相談の 実績
総合的相談	担当理事直結何でも相談窓口	-	2 人	修学相談, 経済的問題や住居に関する相談, 精神・心理的な悩みに関する相談, 身体的な健康に関する問題, 就職や進路に関する相談, 各種ハラスメントに関する相談, その他の相談	2
身体的健康に係る支援・相談	学生相談・メンタルヘルスカウンセリング体制 ^(注)	-	81 人	各コースが指定する教職員又は産業医による身体的な健康に関する問題への対応	281
精神的健康に係る支援・相談	学生相談・メンタルヘルスカウンセリング体制 ^(注)	-	109 人	各月に 1~2 回、3 時間程度の外部カウンセラー配置	
就職・進路に係る支援・相談	学生相談・メンタルヘルスカウンセリング体制 ^(注)	-	125 人	各コースが指定する教職員又による就職や進路に関する相談	
各種ハラスメント	ハラスメント相談員	ハラスメント	204 人	相談者からハラスメントに関する相談等を受け付けること, 相談者の立場に立って相談に応じ, 相談	

別紙様式 4 - 2 - 1

総合研究大学院大学

機能	組織の名称	根拠規定	配置された 人員	支援の内容	相談の 実績
に係る相談		の防止等に関する規程		者の意思を確認し, 防止委員会に正式な苦情等の申し立ての内容を取り次ぐこと, 相談に関する記録及び報告書を作成すること	
各種ハラスメントに係る防止	ハラスメント防止委員会	ハラスメントの防止等に関する規程		教職員等に対するハラスメントの防止等のための啓発活動並びに研修の企画及び実施に関すること, ハラスメントに起因する問題に対する措置に関すること, その他ハラスメントの防止等に関する必要な事項	

注) 4-2-1-01_学生相談・メンタルヘルスカウンセリング体制について(2025年4月1日現在)参照

基準 4-2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること

分析項目 4-2-2 学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っていること

【分析の手順】

・課外活動の支援について、課外活動団体数、課外活動施設設備の整備、及び運営資金や備品貸与等の支援の状況を確認する。

※大学が組織として支援すべき部活動等の範囲については、大学の判断による。ただし、あくまでも大学の組織的活動として分析することが必要。

※課外活動団体等への支援実績を示す資料は、あくまでも大学の支援の実績であり、部等の活動実績そのものを評価するものではない。

・課外活動に係る支援状況一覧（別紙様式 4-2-2）

課外活動団体数	9 団体
---------	------

支援の分類	内容	備考
課外活動施設設備の整備	トレーニング部設立に伴い、トレーニングルームの新規開設、および器具の購入を行った。	
	テニスコート、フットサルコートの維持管理、無償貸与を行っている。	
運営資金	物品購入費として、年間総額 476 千円を支援している。	
備品貸与	-	

別紙様式 4 - 2 - 3

基準 4 - 2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること

分析項目 4 - 2 - 3 留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること

【分析の手順】

- ・留学生に対する生活支援の内容及び実施体制について確認する。
- ・海外から受け入れる学生に対する入学前の支援について確認する。
- ・卒業（修了）後の留学生の状況を把握していることを確認する。
- ・留学生への生活支援の内容及び実施体制（別紙様式 4 - 2 - 3）

生活支援の内容		担当する組織名称	備考
チューター制度	チューターを選定し、留学生の学習面や生活面でのサポートを行う。	学務課学生係	
日本語学習支援	「留学生日本語学習支援」の予算枠を設け、コースからの申請に従って予算を配分し、学外の教育リソースを利用した日常的な日本語教育の支援を実施している。	各コース	
インバウンドサポートセンター	日本滞在中の留学生が事故やトラブルにあった際、24時間対応が可能な相談窓口を設けている。（電話および Email、日・中・英語対応）	学務課学生係	
ビザ手続き支援	在留資格認定証明書（COE）の申請書類作成支援および代理申請。在留期間更新許可申請書の作成等を行っている。	学務課学生係、各コース	
留学生住宅総合補償制度	日本国際教育支援協会（J E E S）が運営する「留学生住宅総合補償制度」への加入等の条件を満たす外国人留学生に対し、本学が連帯保証人となり、留学生の居住手続きを支援。	学務課学生係	
留学生のための UR 賃貸住宅	UR 都市機構と連携し、外国人留学生向けに UR アパートの法人賃貸制度を提供。	学務課学生係	
留学生向けメンタルヘルスカウンセリング（対面）	月 1～2 回程度、英語で受けられるカウンセリングサービス（対面）を提供。	各コース	

生活支援の内容		担当する組織名称	備考
留学生向けメンタルヘルスカウンセリング（電話）	外国人留学生向けに、電話にて英語で受けられるカウンセリングサービスを提供。	学務課学生係	

基準 4-2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること

分析項目 4-2-4 障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること

【分析の手順】

- ・ 障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援の実施体制及び実施状況について、関係法令の趣旨を考慮して確認する。
 - ・ 対象となる学生が現在在籍していない場合でも、各大学固有の事情等に応じて生活支援を行うことのできる状況にあるかについて確認する。
- ※施設・設備のバリアフリー化への対応については、基準 4-1 において確認する。

- ・ 障害のある学生等に対する生活支援の内容及び実施体制（別紙様式 4-2-4）

生活支援の内容		担当する組織名称	備考
障害を持つ学生への生活支援等	障害のある学生及び本学への入学志願者が、修学・学生生活や入学試験に際して合理的配慮を希望する場合には、まず学務課学生係または所属（入学を希望）するコースに申し出を行い、学務課とコースで共有し、合理的配慮や適切な支援を検討する。直近では、聴覚障害のある学生に対して、講義や各種研修等における手話通訳、ノートテイカーの手配や、音声認識アプリをインストールしたタブレット端末の導入を実施。	学務課学生係、各コース	

※実績がない場合には、必要があれば対応できる体制が整備されていることを示すこと

別紙様式 4 - 2 - 5

基準 4 - 2 学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること

分析項目 4 - 2 - 5 学生に対する経済面での援助を行っていること

【分析の手順】

- ・奨学金制度の整備状況と当該窓口の周知及び利用実績について確認する。
- ・入学料・授業料免除、奨学金（給付、貸与）、学生寄宿舍等、各大学固有の事情等に応じて、学生の経済面の援助が行われているかについて確認する。
- ・経済的支援の整備状況、利用実績一覧（別紙様式 4 - 2 - 5）

奨学金制度窓口の周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・大学ウェブサイト ・学生便覧
--------------	--

支援の内容	担当する組織名称	根拠規定	配置された人員	支援の実績	財源
SOKENDAI 特別研究員制度	総合企画課学生支援企画係	総合研究大学院大学特別研究員事業実施規程	2 人	53 人	補助金 運営費交付金
入学料の免除	学務課学生係	総合研究大学院大学学則（第 55 条）	7 人	前期 4 人 後期 3 人	運営費交付金
授業料の免除	学務課学生係	総合研究大学院大学学則（第 55 条）	7 人	前期 111 人 後 113 人	運営費交付金
日本学生支援機構奨学金	学務課学生係	独立行政法人日本学生支援機構貸与奨学規程	7 人	第一種 29 人 第二種 3 人	独立行政法人日本学生支援機構
寄宿舍の整備			人		

基準 5 - 2 学生の受入が適切に実施されていること

分析項目 5 - 2 - 1 学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること

【分析の手順】

- ・ 学士課程，大学院課程ともに入試の種類ごとに，入学者選抜の方法（学力検査，面接等）が入学者選抜の基本方針に適合していることを確認する。
- ・ 面接が含まれている場合は，面接要領等があることを確認する。
- ・ 実施体制の整備状況（組織の役割，構成，人的規模・バランス，組織間の連携・意思決定プロセス・責任の所在等）を確認する。

・ 入学者選抜の方法一覧（別紙様式 5 - 2 - 1）

学部・研究科	入試の種類	選抜方法	募集要項の記載ページ
先端大学院先端学術専攻 人類文化研究コース	一般入試（博士後期課程）	第一次選抜（書類選考）と第二次選抜（論文審査及び面接）	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/anth/index.html
先端大学院先端学術専攻 国際日本研究コース	一般入試（博士後期課程）	第一次選抜（書類選考，修士論文等の審査）と第二次選抜（面接）	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/js/index.html
先端大学院先端学術専攻 日本歴史研究コース	一般入試（博士後期課程）	第一次選抜（書類選考，修士論文等の審査）と第二次選抜（面接）	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/jhist/index.html
先端大学院先端学術専攻 日本文学研究コース	一般入試（博士後期課程）	第一次選抜（書類選考）と第二次選抜（論文審査及び面接）	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/jlit/index.html
先端大学院先端学術専攻 日本語言語学コース	一般入試（博士後期課程）	第一次選抜（書類選考）と第二次選抜（論文審査及び面接）	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/jls/index.html

先端学術院先端学術専攻 情報学コース	一般入試 (5年一貫制博士課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/informatics/index.html
	一般入試 (博士後期課程)	書類選考, 面接	
	私費外国人留学生特別選 抜 (5年一貫制)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	私費外国人留学生特別選 抜 (博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	国費外国人留学生選 抜 (5年一貫制)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
先端学術院先端学術専攻 統計科学コース	一般入試 (5年一貫制博士課程)	書類審査, 筆記試験及び面接試験	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/stat/index.html
	一般入試 (博士後期課程)	書類審査及び面接試験	
	私費外国人留学生特別選 抜 (5年一貫制)	書類選考, 筆記試験, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	私費外国人留学生特別選 抜 (博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	国費外国人留学生選 抜 (5年一貫制)	書類選考, 筆記試験, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
	国費外国人留学生選 抜 (博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html

先端学術院先端学術専攻 素粒子原子核コース	一般入試 (5年一貫制博士課程)	書類選考と学力検査(筆記試験 (数学・英語・専門科目)及び面接試験)	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/pnp/index.html
	一般入試(博士後期課程)	書類選考及び面接	
	私費外国人留学生特別選 抜(5年一貫制)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	私費外国人留学生特別選 抜(博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	国費外国人留学生選抜 (5年一貫制)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
	国費外国人留学生選抜 (博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
先端学術院先端学術専攻 加速器科学コース	一般入試 (5年一貫制博士課程)	書類選考と学力検査(筆記試験 (数学・英語・専門科目)及び面接試験)	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/acc/index.html
	一般入試(博士後期課程)	書類選考及び面接	
	特別選抜 (5年一貫制博士課程)	書類選考及び面接	
	私費外国人留学生特別選 抜(5年一貫制)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	私費外国人留学生特別選 抜(博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	国費外国人留学生選抜 (5年一貫制)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html

	国費外国人留学生選抜 (博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
先端学術院先端学術専攻 天文科学コース	一般入試 (5年一貫制博士課程)	(1) 書類選考 (2) 筆記試験 (3) 面接	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/astro/index.html
	一般入試 (博士後期課程)	試験, (1) これまでに行ってきた研究の 発表 (2) 英語の筆記試験 (3) 口頭試問 (4) 面接 に加え, 書類選考	
	私費外国人留学生特別選 抜 (5年一貫制)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	私費外国人留学生特別選 抜 (博士後期課程)	書類選考と面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	国費外国人留学生選抜 (5年一貫制)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
	国費外国人留学生選抜 (博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html

先端学術院先端学術専攻 核融合科学コース	一般入試 (5年一貫制博士課程)	1) 書類選考 2) 筆記試験 3) 面接	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/fusion/index.html
	一般入試 (博士後期課程)	1) 書類選考 2) 筆記試験 3) 面接	
	私費外国人留学生特別選 抜 (5年一貫制)	書類選考, 筆記試験, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	私費外国人留学生特別選 抜 (博士後期課程)	書類選考, 小論文, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	国費外国人留学生選抜 (5年一貫制)	書類選考, 筆記試験, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
	国費外国人留学生選抜 (博士後期課程)	書類選考, 小論文, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
先端学術院先端学術専攻 宇宙科学コース	一般入試 (5年一貫制博士課程)	1) 書類選考 2) 筆記試験 3) 面接	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/space/index.html
	一般入試 (博士後期課程)	1) 書類選考 2) 英語 3) 面接	
	私費外国人留学生特別選 抜 (5年一貫制)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	私費外国人留学生特別選 抜 (博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/

	国費外国人留学生選抜 (5年一貫制)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
	国費外国人留学生選抜 (博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
先端学術院先端学術専攻 分子科学コース	一般入試 (5年一貫制博士課程)	1) 書類選考 2) 筆記試験 3) 面接 4) 英語	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/ms/index.html
	一般入試 (博士後期課程)	書類選考と面接	
	私費外国人留学生特別選抜 (5年一貫制)	書類選考, 筆記試験, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	私費外国人留学生特別選抜 (博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	国費外国人留学生選抜 (5年一貫制)	書類選考, 筆記試験, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
	国費外国人留学生選抜 (博士後期課程)	書類選考と面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
先端学術院先端学術専攻 物質構造科学コース	一般入試 (5年一貫制博士課程)	書類選考と面接試験	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/mss/index.html
	一般入試 (博士後期課程)	書類選考と面接	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/mss/index.html
	私費外国人留学生特別選抜 (5年一貫制)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/

	私費外国人留学生特別選 抜（博士後期課程）	書類選考，面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	国費外国人留学生選 抜（5年一貫制）	書類選考，面接	<a href="https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommenda
tion/index.html">https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommenda tion/index.html
	国費外国人留学生選 抜（博士後期課程）	書類選考，面接	<a href="https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommenda
tion/index.html">https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommenda tion/index.html
先端学術院先端学術専攻 総合地球環境コース	一般入試（博士後期課程）	第一次選抜（書類選考）と第二次 選抜（論文審査及び面接）	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/ges/index.html
	私費外国人留学生特別選 抜（博士後期課程）	書類選考，面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	国費外国人留学生選 抜（博士後期課程）	書類選考，面接	<a href="https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommenda
tion/index.html">https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommenda tion/index.html
先端学術院先端学術専攻 極域科学コース	一般入試 （5年一貫制博士課程）	書類及び面接審査，筆記試験	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/polar/index.html
	一般入試（博士後期課程）	書類選考及び面接	
先端学術院先端学術専攻 基礎生物学コース	一般入試 （5年一貫制博士課程）	書類選考，筆記試験（英語，小論 文）及び面接	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/bb/index.html
	一般入試（博士後期課程）	書類選考及び面接	
	私費外国人留学生特別選 抜（5年一貫制）	書類選考，小論文，面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	私費外国人留学生特別選 抜（博士後期課程）	書類選考，面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/

	国費外国人留学生選抜 (5年一貫制)	書類選考, 小論文, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
	国費外国人留学生選抜 (博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
先端学術院先端学術専攻 生理科学コース	一般入試 (5年一貫制博士課程)	1) 書類選考 2) 筆記試験 3) 面接 4) 英語	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/ps/index.html
	一般入試 (博士後期課程)	1) 書類選考 2) 面接 3) 英語	
	私費外国人留学生特別選抜 (5年一貫制)	書類選考, 小論文, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	私費外国人留学生特別選抜 (博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	国費外国人留学生選抜 (5年一貫制)	書類選考, 小論文, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
	国費外国人留学生選抜 (博士後期課程)	書類選考, 面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
	先端学術院先端学術専攻 遺伝学コース	一般入試 (5年一貫制博士課程)	書類選考と学力検査(筆記試験と面接)
一般入試 (博士後期課程)		書類選考と学力検査(筆記試験と面接)	

	私費外国人留学生特別選 抜（5年一貫制）	書類選考，筆記試験，面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	国費外国人留学生選 抜（5年一貫制）	書類選考，筆記試験，面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
先端学術院先端学術専攻 統合進化科学コース	一般入試 （5年一貫制博士課程）	書類選考，英語能力及び面接	https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/ies/index.html
	一般入試（博士後期課程）	書類選考，英語能力及び面接	
	私費外国人留学生特別選 抜（5年一貫制）	書類選考，面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	私費外国人留学生特別選 抜（博士後期課程）	書類選考，面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/pvscholarship/scholarship/
	国費外国人留学生選 抜（5年一貫制）	書類選考，面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html
	国費外国人留学生選 抜（博士後期課程）	書類選考，面接	https://www.soken.ac.jp/en/admission/mextscholarship/university_recommendation/index.html

分析項目6-4-4 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること

【分析の手順】

- ・教育上主要と認める授業科目の定義を確認する。
 - ・教育上主要と認める授業科目への専任の教授又は准教授の配置状況（該当する授業科目数、そのうち専任の教授又は准教授が担当する科目数、専任の講師が担当する科目数）を確認する。
- ※実際に授業を担当しない場合でも、専任の教授又は准教授が授業の内容、実施、成績に関して責任をもっている場合は、その授業科目を分析項目の状況に準ずるものとして分析することが可能。
- ・基幹教員制度を導入している場合は、主要な授業科目を担当する基幹教員の配置状況を確認する。
- ※適切な科目担当となっていることの最低限の担保として、大学院についても分析する。

・教育上主要と認める授業科目（別紙様式6-4-4）

教育研究上の基本組織 又は教育課程	教育上主要と認める授業科目の定義	授業科目数	専任の教授又は准教授が 担当する科目数	備考
先端学術院	先端学術特別研究	10科目	10科目	当該科目は主任指導教員が担当するものとなっており、主任指導教員は学則第31条第1項のとおり、教授又は准教授が担当することとなっている。ただし、同条第2項により、教育研究上の組織編制として適切と認められる場合には、講師又は助教が主任指導教員となり、当該科目を担当する場合もある。 ・学則 (https://kitei.soken.ac.jp/doc/gakugai/print/2.html)

※基本組織の中で複数の課程に分かれている場合は、適宜行を追加し作成する。ただし、教育課程方針の策定単位との整合性に留意する。

分析項目6-5-1 学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること

【分析の手順】

・ガイダンス、担任制、学習成果の状況の組織的把握と対応、学習計画の指導、能力別クラス分け、基礎学力不足の学生に対する指導、助言が行われていることを確認する。

・通信教育を行う課程を置いている場合は、そのための履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていることを確認する。

・授業科目への学術の発展動向（担当教員の研究成果を含む。）の反映、他学部の授業科目の履修、編入学や秋期入学への配慮、修士（博士前期）課程教育との連携、国内外の他大学との単位互換・交換留学制度の実施、ダブル・ディグリー制度の導入等の取組を積極的に行っている場合は、その状況についても確認する。

・履修指導の実施状況（別紙様式6-5-1）

教育研究上の基本組織	取組	実施組織	実施状況
先端学術院	国際共同学位プログラム	全学	国際共同学位プログラムは、海外の高等教育機関と協定を締結し、一人の学生に対して双方の機関の教員が共同で学位論文指導を行うもので、海外の研究環境を活用して学生の研究力を培い、学位論文研究の幅を広げるとともに、若手人材の国際流動性を高めることを目的に実施している。
	特別聴講派遣学生制度	全学	他大学の授業を履修し、一定の単位数を本学の修了単位することのできる、特別聴講派遣学生制度を設けている。
	フレッシュマンコース	全学	フレッシュマンコースは、主に新生を対象に、研究者として身につけるべき基礎的な知識やリテラシーを習得し、異分野交流を通じて学問の広がりを知ることを目的に、集中講義として実施している。
	他コースの授業科目の履修	全学	全ての授業科目を「先端学術院科目」とし、授業内容の専門性・難易度を4段階のレベルで示したうえで開講することで、学生は何れのコースを履修するかに拘わらず、原則として全ての先端学術院科目の中から自身の学修に必要な授業科目を選択し履修することが可能である。
	複数指導体制	全学	学則第30条により、主任指導教員を含め、原則として2人以上の教員が研究指導を行う、複数指導体制を設けている。
	指導教員による履修申請内容の確認・指導	全学	先端学術院規程第6条の規定により、毎学期初めの履修届提出の際は必ず主任指導教員による履修内容の確認・指導が行なわれている。
	入学者ガイダンス、オリエンテーション	各コース	各コースにおいて、新生や在生学生に対し、カリキュラムや履修方法の説明、各基盤機関における施設等の利用方法などに関するガイダンスやオリエンテーションを実施している。

研究指導、進捗状況確認	各コース	各コースの教育プログラムに応じて適切に研究指導を行っている。また、公開形式の発表会や中間報告会の開催など、研究計画の定期的な進捗確認を実施している。
授業科目への学術の発展動向(担当教員の研究成果を含む)の反映	各コース	本学は、大学共同利用機関等の世界トップレベルの研究環境を教育の場としている。大学共同利用機関等の研究機関（基盤機関）は、個々の大学では整備できない大規模な施設・設備、大量のデータや貴重な資料等の研究資源を全国の大学の研究者に提供するとともに、国内外の研究者との多彩な共同研究を通じて、我が国の先端学術を牽引する研究拠点の役割を担っており、そのような基盤機関の優れた研究環境において、各研究分野の豊富な研究者集団を教授陣とし、高度な専門教育を提供している。

分析項目6-5-2 学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること

【分析の手順】

・オフィスアワーの設定、ネットワークを活用した学習相談等、各大学固有の事情等に応じて、学習相談、助言等の学習支援が行われているかについて確認する。

・通信教育を行う課程を置いている場合は、学習相談の体制を整備し、学習相談、助言等の学習支援が行われていることを確認する。

・学習相談の実施状況（別紙様式6-5-2）

教育研究上の基本組織	取組	実施組織	実施状況
先端学術院	複数指導体制	全学	1人の学生に対して複数人の教員を担当教員として配置することで、学習状況に応じた幅広い支援体制を整えている。
	相談窓口の設置	全学、各コース	全学及びコースに設置された相談窓口で学生からの学習相談を受け付けている。

分析項目6-5-3 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること

【分析の手順】

- ・ インターンシップ等の実施状況を確認する。
- ・ その他教育課程の目的に応じた取組を確認する。

- ・ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組（別紙様式6-5-3）

教育研究上の基本組織	取組	実施組織	実施状況
先端学術院	SOKENDAI研究派遣プログラム	全学	海外での短期の研究活動や、将来のキャリア構築につながる国内外での長期の共同研究等に主体的に取り組む学生に対して必要な経費を支援。
	研究倫理教育	全学	博士課程において研究を実施し、また、研究者等としてキャリアを重ねていく上で、十分な研究倫理を身に付けていることは必須であることから、本学学生全員が在学中に研究倫理教育を例外なく受講するように、2025年3月修了予定者から、学位の出願時に研究倫理教育を受講したことの確認を受けることを必須としている。
	RAの活用	各コース	各基盤機関において大学院生をRAとして雇用し、研究補助業務を通じて若手研究者としての研究遂行能力の育成を図っている。
	基盤機関の実施する事業への参画	各コース	基盤機関が実施するセミナーやシンポジウム等のイベントに参画し、研究発表等の機会を設けるとともに、一般の方々との交流を持つ機会を設けることで社会的、職業的自立するための能力育成を図っている。
	キャリアセミナーの開催	教育企画開発センター、各コース	教育企画開発センターにおいてキャリアを切り拓く力を身につけるための全学セミナー（アカデミックキャリアセミナー、博士学生のためのキャリアセミナー）を開催しているほか、各コースにおいても、講演会や相談会を開催している。

分析項目6-5-4 障害のある学生、留学生、その他履修上特別な支援を要する学生に対する学習支援を行う体制を整えていること

【分析の手順】

・履修上特別な支援を要する学生への学習支援については、あらかじめこれらの学生の人数等に関するデータを把握した上で、各大学固有の事情等に応じて行われている学習支援の実施状況について確認する。

・障害のある学生に対する支援については、関係法令の趣旨を考慮して確認する。

・履修上特別な支援を行うことが必要と考えられる学生が現在在籍していない場合でも、各大学固有の事情等に応じて学習支援を行うことのできる状況にあるかについて確認する。

※施設・設備のバリアフリー化への対応については、基準4-1において確認する。

・履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況（別紙様式6-5-4）

障害のある学生

教育研究上の基本組織	実施組織	実施状況
先端学術院	学務課、各コース	障害のある学生及び本学への入学志願者が、修学・学生生活や入学試験に際して合理的配慮を希望する場合には、まず学務課学生係または所属（入学を希望）するコースに申し出を行い、学務課とコースで共有し、合理的配慮や適切な支援を検討する。直近では、聴覚障害のある学生に対して、講義や各種研修等における手話通訳、ノートテイカーの手配や、音声認識アプリをインストールしたタブレット端末の導入を行った。

留学生

教育研究上の基本組織	実施組織	実施状況
先端学術院	学務課、各コース	新入学の外国人留学生に対して、チューターによる、教育・研究について個別の課外指導及び生活指導を行う制度を設けている。チューターは、留学生の指導教員の推薦に基づき、その専攻する分野に関連のある学生等から大学が選定している。チューターは、学習面や生活面でのサポートを行っている。
	各コース	専門教育に支障がない範囲で、新入学の外国人留学生に対し広く日本語を学習する機会を提供するために、一部のコースにおいて必要に応じて日本語の学習支援を実施している。履修者に留学生が含まれる場合等、必要に応じて英語で講義を実施している。

その他履修上特別な支援を要する学生

教育研究上の基本組織	実施組織	実施状況
先端学術院	学務課、各コース	各コースで、月に1～2回、3時間程度カウンセラーによる相談を受け付けている。また、カウンセラー相談の他にも、コースごとに相談窓口を設けており、必要に応じて対応している。
	学生支援委員会	葉山本部と各基盤機関における学生支援の実施状況について情報共有を行っている。
	各コース	社会人学生や留学生、育児・介護で時間的制約のある学生等に対して、特別な配慮が必要な場合は、指導教員と相談の上、研究指導や打合せのフレキシブルな時間設定、E-Mailを用いた学修相談など、個々人の状況に応じた対応を行っている。 また、合理的配慮を要する学生に対しては、当該コースにおいて、組織的に方針を定め、対応している。

分析項目6-8-1 標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること

【分析の手順】

- ・学部、研究科等ごとの標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分）を算出し確認する。
- ・大学等の目的及び学位授与方針に則した資格の取得者数を確認する（卒業が受験資格となるものは必須）。
- ・大学院課程においては、研究活動の実績の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して妥当なものであることを確認する。
- ・標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（過去5年分）（別紙様式6-8-1）

教育研究上の基本組織	標準修業年限内の卒業（修了）率					「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率				
	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
先端学術院先端学術専攻 ※2023年度設置。完成年度未達につき対象外。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文化科学研究科 地域文化学専攻 博士後期課程 (2023年度募集停止)	0%	0%	0%	0%	0%	対象者なし	100%	0%	0%	0%
文化科学研究科 比較文化学専攻 博士後期課程 (2023年度募集停止)	0%	0%	0%	0%	0%	33%	100%	0%	0%	0%
文化科学研究科 国際日本研究専攻 博士後期課程 (2023年度募集停止)	0%	25%	0%	0%	0%	50%	33%	50%	50%	0%
文化科学研究科 日本歴史研究専攻 博士後期課程 (2023年度募集停止)	50%	0%	対象者なし	0%	0%	0%	50%	50%	0%	100%

文化科学研究科 日本文学研究専攻 博士後期課程 (2023年度募集停止)	対象者なし	50%	0%	対象者なし	0%	100%	100%	対象者なし	50%	0%
物理科学研究科 構造分子科学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	40%	25%	50%	0%	0%	25%	50%	33%	40%	25%
物理科学研究科 構造分子科学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	100%	33%	100%	100%	100%	0%	100%	100%	67%	100%
物理科学研究科 機能分子科学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	20%	20%	14%	33%	33%	対象者なし	0%	67%	20%	20%
物理科学研究科 機能分子科学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	50%	0%	67%	100%	100%	100%	33%	50%	50%	100%
物理科学研究科 天文科学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	67%	67%	100%	60%	50%	60%	33%	60%	67%	67%
物理科学研究科 天文科学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	対象者なし	100%	0%	25%	67%	100%	75%	対象者なし	100%	0%
物理科学研究科 核融合科学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	100%	67%	0%	50%	40%	100%	0%	100%	100%	67%
物理科学研究科 核融合科学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	50%	0%	67%	100%	25%	100%	対象者なし	100%	0%	100%
物理科学研究科 宇宙科学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	75%	50%	100%	0%	75%	60%	100%	100%	100%	100%

物理科学研究科 宇宙科学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	0%	29%	0%	33%	0%	50%	75%	0%	43%	50%
高エネルギー加速器科学研究科 加速器科学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	67%	50%	100%	50%	0%	対象者なし	対象者なし	100%	67%	100%
高エネルギー加速器科学研究科 加速器科学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	100%	100%	100%	0%	0%	86%	100%	100%	100%	100%
高エネルギー加速器科学研究科 物質構造科学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	100%	33%	100%	対象者なし	0%	対象者なし	対象者なし	対象者なし	100%	33%
高エネルギー加速器科学研究科 物質構造科学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	50%	100%	75%	50%	対象者なし	50%	100%	100%	100%	75%
高エネルギー加速器科学研究科 素粒子原子核専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	25%	50%	33%	0%	20%	67%	25%	91%	38%	50%
高エネルギー加速器科学研究科 素粒子原子核専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	0%	対象者なし	0%	67%	0%	100%	対象者なし	100%	対象者なし	0%
複合科学研究科 統計科学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	0%	50%	100%	0%	対象者なし	50%	50%	対象者なし	0%	50%
複合科学研究科 統計科学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	29%	60%	67%	20%	10%	80%	50%	57%	67%	83%
複合科学研究科 極域科学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	0%	0%	0%	25%	0%	33%	100%	60%	100%	83%

複合科学研究科 極域科学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	対象者なし	0%	100%	0%	対象者なし	0%	対象者なし	対象者なし	33%	100%
複合科学研究科 情報学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	60%	33%	25%	22%	38%	100%	63%	80%	80%	42%
複合科学研究科 情報学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	78%	81%	36%	9%	0%	91%	75%	89%	94%	55%
生命科学研究科 遺伝学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	71%	25%	40%	25%	29%	83%	83%	67%	100%	75%
生命科学研究科 遺伝学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	100%	0%	33%	0%	25%	対象者なし	100%	100%	100%	100%
生命科学研究科 基礎生物学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	33%	33%	60%	100%	25%	67%	67%	0%	33%	50%
生命科学研究科 基礎生物学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	80%	75%	50%	67%	50%	60%	100%	100%	100%	25%
生命科学研究科 生理科学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	25%	0%	50%	30%	0%	55%	50%	67%	50%	33%
生命科学研究科 生理科学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	50%	20%	25%	0%	0%	0%	40%	100%	60%	58%
先導科学研究科 生命共生体進化学専攻 5年一貫制博士課程 (2023年度募集停止)	50%	0%	50%	33%	0%	78%	50%	33%	50%	0%

先導科学研究科 生命共生体進化学専攻 5年一貫制博士課程3年次編入 (2023年度募集停止)	0%	対象者なし	50%	50%	0%	対象者なし	0%	100%	対象者なし	100%
---	----	-------	-----	-----	----	-------	----	------	-------	------

分析項目6-8-2 就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること

【分析の手順】

- ・就職率（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して妥当なものであること等を確認する。
- ・就職先、進学先の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して妥当なものであること等を確認する。

- ・就職率(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学率の状況（別紙様式6-8-2）

教育研究上の基本組織		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	主な進学先/就職先
先端学術院 ※2023年度設置。完成年度未達につき対象外。	卒業者 (A)						
	進学者 (B)						
	進学率 (B/A)						
	就職希望者 (C)						
	就職者 (D)						
	卒業者に対する就職率 (D/A)						
	就職希望者に対する就職率 (D/C)						
文化科学研究科 地域文化学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	3	3	0	2	3	大学・研究所における研究者、大学等高等教育機関において文化人類学等の教育・研究に携わる教員、博物館等における研究者
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	-	0.0%	-	
	就職希望者 (C)	3	3	0	2	3	
	就職者 (D)	0	0	0	0	0	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	

教育研究上の基本組織		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	主な進学先/就職先
文化科学研究科 比較文化学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	3	3	2	1	2	大学・研究所における研究者、大学等高等教育機関において文化人類学等の教育・研究に携わる教員、博物館等における研究者
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	3	3	2	1	2	
	就職者 (D)	0	0	0	0	1	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	
文化科学研究科 国際日本研究専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	2	6	4	3	1	・企業、国立研究所等の人文科学・社会科学・自然科学等分野の研究者、大学等の人文科学・社会科学・自然科学系教員、企業等で最先端のプロジェクト型研究を遂行する研究者 ・大学・研究所における専門的歴史研究者、或いは大学等高等教育機関において日本文化・地域文化等の教育・研究に携わる教員、博物館等における研究者・学芸員 ・人文科学・社会科学・自然科学等の分野における民間及び官公庁の研究者 など
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	2	6	4	3	1	
	就職者 (D)	0	0	2	0	1	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	
文化科学研究科 日本歴史研究専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	2	1	1	1	3	大学、研究所における専門的歴史、民俗、考古等研究者、あるいは博物館等における研究者、学芸員等。
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	2	1	1	1	3	
	就職者 (D)	0	1	1	1	1	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	33.3%	

教育研究上の基本組織		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	主な進学先/就職先
文化科学研究科 日本文学研究専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	2	3	1	1	1	大学・研究機関における専門的日本文学研究者、或いは大学等高等教育機関において日本文学等の教育・研究に携わる教員、美術館・博物館における学芸員等。
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	2	3	1	1	1	
	就職者 (D)	0	1	0	0	0	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
物理科学研究科 構造分子科学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	4	3	7	3	5	大学や国公立研究所等における分子科学関連分野の研究者・教員、公的研究プロジェクトや民間研究所における先端的研究課題を遂行する研究者・技術者。
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	4	3	7	3	5	
	就職者 (D)	3	3	6	2	4	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	75.0%	100.0%	85.7%	66.7%	80.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	75.0%	100.0%	85.7%	66.7%	80.0%	
物理科学研究科 機能分子科学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	3	4	4	2	5	大学や国公立研究所等における分子科学関連分野の研究者・教員、公的研究プロジェクトや民間研究所における先端的研究課題を遂行する研究者・技術者。
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	3	4	4	2	5	
	就職者 (D)	2	2	2	2	2	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	66.7%	50.0%	50.0%	100.0%	40.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	66.7%	50.0%	50.0%	100.0%	40.0%	
物理科学研究科 天文科学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	7	5	4	5	7	国内外の大学や研究機関における天文科学及びその関連分野の研究教育職員・研究職員、企業の技術者、サイエンスコミュニケーター
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	7	5	4	5	7	
	就職者 (D)	3	4	3	5	7	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	42.9%	80.0%	75.0%	100.0%	100.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	42.9%	80.0%	75.0%	100.0%	100.0%	

教育研究上の基本組織		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	主な進学先/就職先
物理科学研究科 核融合科学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	3	4	3	4	5	国立研究所等の核融合関連分野の技術者・研究者、大学等の核融合学（プラズマ実験、理論、材料工学や超伝導工学等）系教員、企業等で最先端のプロジェクト型研究を遂行する技術者・研究者
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	3	4	3	4	5	
	就職者 (D)	2	4	3	3	3	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	66.7%	100.0%	100.0%	75.0%	60.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	66.7%	100.0%	100.0%	75.0%	60.0%	
物理科学研究科 宇宙科学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	6	5	6	4	5	大学、国立研究所等の宇宙科学（宇宙物理学、太陽系科学、宇宙工学）分野の教員・研究員、企業や国立研究所等の宇宙開発関連分野の技術者・研究者、企業等で最先端のプロジェクト型研究を遂行する技術者など。
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	6	5	6	4	5	
	就職者 (D)	3	4	5	3	3	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	50.0%	80.0%	83.3%	75.0%	60.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	50.0%	80.0%	83.3%	75.0%	60.0%	
高エネルギー加速器科学研究科 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	10	16	11	10	7	国内外の加速器関連研究機関の研究者や民間企業の研究者
	進学者 (B)	0	0	1	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	10	16	10	10	7	
	就職者 (D)	6	8	8	7	4	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	60.0%	50.0%	72.7%	70.0%	57.1%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	60.0%	50.0%	80.0%	70.0%	57.1%	
複合科学研究科 統計科学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	4	9	10	7	5	国内や海外の大学等、企業や国立の研究所等、IT・製造業・金融業・製薬業などの企業、など
	進学者 (B)	0	0	0	1	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	
	就職希望者 (C)	4	9	10	6	5	
	就職者 (D)	3	4	8	5	4	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	75.0%	44.4%	80.0%	71.4%	80.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	75.0%	44.4%	80.0%	83.3%	80.0%	

教育研究上の基本組織		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	主な進学先/就職先
複合科学研究科 極域科学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	4	3	4	3	3	大学、国立研究所、企業等の地球惑星科学分野やその他理工学系の研究者・技術者
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	4	3	4	3	3	
	就職者 (D)	3	2	4	3	3	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	75.0%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	75.0%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	
複合科学研究科 情報学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	20	19	22	12	21	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大学、公的研究機関、企業における情報学（情報技術ITの基礎理論・応用、AI・データサイエンスの基礎・応用など）分野に従事する研究者・技術者。 ・大学等の情報学に関する教員。 ・企業・大学等における情報学に関するプロジェクト型研究を遂行できる研究者・技術者。
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	20	19	22	12	21	
	就職者 (D)	13	13	19	7	13	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	65.0%	68.4%	86.4%	58.3%	61.9%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	65.0%	68.4%	86.4%	58.3%	61.9%	
生命科学研究科 遺伝学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	6	4	9	7	9	研究職（国内外の大学、研究所、企業）、技術職（IT、知財）、出版関係など
	進学者 (B)	0	0	0	1	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	
	就職希望者 (C)	6	4	9	6	9	
	就職者 (D)	3	3	5	3	8	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	50.0%	75.0%	55.6%	42.9%	88.9%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	50.0%	75.0%	55.6%	50.0%	88.9%	

教育研究上の基本組織		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	主な進学先/就職先
生命科学研究科 基礎生物学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	10	4	9	10	7	大学・研究所等における生命科学関連分野の教員・研究員、 生命科学・化学・製薬・医療関連等の企業における研究・開発 担当者
	進学者 (B)	0	0	0	1	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	10	4	9	10	7	
	就職者 (D)	6	2	4	6	6	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	60.0%	50.0%	44.4%	60.0%	85.7%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	60.0%	50.0%	44.4%	60.0%	85.7%	
生命科学研究科 生理科学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	6	5	10	11	2	大学等の学術研究機関、生命科学関連企業など
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	6	5	10	11	2	
	就職者 (D)	4	3	8	8	2	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	66.7%	60.0%	80.0%	72.7%	100.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	66.7%	60.0%	80.0%	72.7%	100.0%	
先導科学研究科 生命共生体進化学専攻 (2023年度募集停止)	卒業者 (A)	6	2	3	5	1	大学、研究所、民間企業、NGO、行政における生命科学分野 (進化生物学、分子生物学、遺伝学、生態学、医学等)の研究 者、或いは科学と社会分野(科学史、科学哲学、科学技術 社会論、生命倫理等)の研究者、および科学コミュニケー ター等。
	進学者 (B)	0	0	0	0	0	
	進学率 (B/A)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	就職希望者 (C)	6	2	3	5	1	
	就職者 (D)	5	2	1	4	1	
	卒業者に対する就職率 (D/A)	83.3%	100.0%	33.3%	80.0%	100.0%	
	就職希望者に対する就職率 (D/C)	83.3%	100.0%	33.3%	80.0%	100.0%	

認証評価共通基礎データ様式【改正前基準】【大学(専門職大学含む)用】様式1(令和7年5月1日現在)

事項		記入欄		備考
大学の名称		総合研究大学院大学		
学校本部の所在地		神奈川県三浦郡葉山町上山口字間門1560-35		
学士課程	学部・学科等の名称	開設年月日	所在地	備考
	研究科・専攻等の名称	開設年月日	所在地	備考
大学院課程	先端学術院 先端学術専攻(D)	2023年4月1日	<p>【つくばキャンパス】 ・茨城県つくば市大穂1-1 (高エネルギー加速器科学研究機構加速器研究施設、共通基盤研究施設、物質構造科学研究所、素粒子原子核研究所)</p> <p>【佐倉キャンパス】 ・千葉県佐倉市城内町117(人間文化研究機構国立歴史民俗博物館)</p> <p>【東京一ツ橋キャンパス】 ・東京都千代田区一ツ橋2-1-2(情報・システム研究機構国立情報学研究所)</p> <p>【三鷹キャンパス】 ・東京都三鷹市大沢2-21-1(自然科学研究機構国立天文台)</p> <p>【立川キャンパス】 ・東京都立川市緑町10-3 (情報・システム研究機構統計科学研究所、国立極地研究所) (人間文化研究機構国文学研究資料館) ・東京都立川市緑町10-2(人間文化研究機構国立国語研究所)</p> <p>【相模原キャンパス】 ・神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1 (宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所)</p> <p>【葉山キャンパス】 ・神奈川県三浦郡葉山町上山口字間門1560-35 (統合進化科学研究センター)</p> <p>【三島キャンパス】 ・静岡県三島市谷田1111(情報・システム研究機構国立遺伝学研究所)</p> <p>【土岐キャンパス】 ・岐阜県土岐市下石町322-6(自然科学研究機構核融合科学研究所)</p> <p>【岡崎キャンパス】 ・愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38 (自然科学研究機構分子科学研究所、基礎生物学研究所、生理科学研究所)</p> <p>【京都上賀茂キャンパス】 ・京都府京都市北区上賀茂本山457-4 (人間文化研究機構総合地球環境学研究所)</p> <p>【京都桂坂キャンパス】 ・京都府京都市西京区御陵大枝山町3-2 (人間文化研究機構国際日本文化研究センター)</p> <p>【吹田キャンパス】 ・大阪府吹田市千里万博公園10-1(人間文化研究機構国立民族学博物館)</p>	
			専攻科・専攻等の名称	開設年月日
専門職学位課程				
別科等	別科・専攻科・附置研究所等の名称	開設年月日	所在地	備考
	学生募集停止中の学部・研究科等	文化科学研究科(令和5年度学生募集停止、在学生数30人) 物理学研究科(令和5年度学生募集停止、在学生数37人) 高エネルギー加速器科学研究科(令和5年度学生募集停止、在学生数33人) 複合科学研究科(令和5年度学生募集停止、在学生数58人) 生命科学研究科(令和5年度学生募集停止、在学生数39人) 先端科学研究科(令和5年度学生募集停止、在学生数11人)		

教育研究組織

学部・学科等の名称	専任教員等										非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考				
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち教授数	助手	専任教員一人あたりの在籍学生数								
学士課程																	
(大学院全体の収容定員に応じた教員数)																	
計	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人					
学部・学科等の名称	専任教員等										非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考				
	教授	准教授	講師	助教	計	専任教員	うち教授数	うち実務家専任教員数	うち2項該当数	うちみなし専任教員数				基準数	うち教授数	うち実務家専任教員数	うち2項該当数
学士課程(専門職学位等含む)																	
(大学院全体の収容定員に応じた教員数)																	
計	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
大学院課程	研究指導教員及び研究指導補助教員										非常勤教員	備考					
	研究指導教員	うち教授数	研究指導補助教員	計	研究指導教員基準数	うち教授数	研究指導補助教員基準数	基準数計	助手								
先端学術院先端学術専攻(D)	670人	343人	305人	975人	21人	14人	0人	35人	-人	0人							
計	670人	343人	305人	975人	21人	14人	0人	35人	0人	0人							
専門職学位課程	専任教員										非常勤教員	備考					
	専任教員	うち教授数	うち実務家専任教員数	うちみなし専任教員数	基準数	うち教授数	うち実務家専任教員数	うちみなし専任教員数	助手								
専任教員																	
計	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人					
校地等	区分	基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	備考										
	校舎敷地面積(葉山キャンパス)	— m ²	27,000 m ²	0 m ²	0 m ²	27,000 m ²											
校舎敷地面積(つくばキャンパス)	— m ²	0 m ²	1,642,151 m ²	0 m ²	1,642,151 m ²												
校舎敷地面積(佐倉キャンパス)	— m ²	0 m ²	129,519 m ²	0 m ²	129,519 m ²												
校舎敷地面積(東京一ツ橋キャンパス)	— m ²	0 m ²	3,083 m ²	0 m ²	3,083 m ²												
校舎敷地面積(三鷹キャンパス)	— m ²	0 m ²	938,647 m ²	0 m ²	938,647 m ²												
校舎敷地面積(立川キャンパス)	— m ²	0 m ²	86,430 m ²	0 m ²	86,430 m ²												
統計数理研究所	— m ²	0 m ²	62,450 m ²	0 m ²	62,450 m ²												
国立極地研究所	— m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²												
国文学研究資料館	— m ²	0 m ²	23,980 m ²	0 m ²	23,980 m ²												
国立国語研究所	— m ²	0 m ²	73,001 m ²	0 m ²	73,001 m ²												
校舎敷地面積(相模原キャンパス)	— m ²	0 m ²	96,069 m ²	0 m ²	96,069 m ²												
校舎敷地面積(三島キャンパス)	— m ²	0 m ²	464,445 m ²	0 m ²	464,445 m ²												
校舎敷地面積(土岐キャンパス)	— m ²	0 m ²	128,621 m ²	0 m ²	128,621 m ²												
校舎敷地面積(岡崎キャンパス)	— m ²	0 m ²	31,515 m ²	0 m ²	31,515 m ²												
明大寺Aキャンパス	— m ²	0 m ²	64,061 m ²	0 m ²	64,061 m ²												
明大寺Bキャンパス	— m ²	0 m ²	33,045 m ²	0 m ²	33,045 m ²												
山手キャンパス	— m ²	0 m ²	31,453 m ²	0 m ²	31,453 m ²												
校舎敷地面積(京都市上賀茂キャンパス)	— m ²	0 m ²	31,120 m ²	0 m ²	31,120 m ²												
校舎敷地面積(京都桂坂キャンパス)	— m ²	0 m ²	40,821 m ²	0 m ²	40,821 m ²												
校舎敷地面積(吹田キャンパス)	— m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²	大学全体											
運動場用地	— m ²	0 m ²	27,000 m ²	3,880,411 m ²	0 m ²	3,907,411 m ²											
校地面積計	— m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²											
その他	— m ²	0 m ²															
校地等	区分	基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	備考										
	校舎面積計(葉山キャンパス)	— m ²	9,972 m ²	0 m ²	0 m ²	9,972 m ²											
校舎面積計(つくばキャンパス)	— m ²	0 m ²	247,109 m ²	0 m ²	247,109 m ²												
校舎面積計(佐倉キャンパス)	— m ²	0 m ²	38,091 m ²	0 m ²	38,091 m ²												
校舎面積計(東京一ツ橋キャンパス)	— m ²	0 m ²	18,145 m ²	0 m ²	18,145 m ²												
校舎面積計(三鷹キャンパス)	— m ²	0 m ²	45,107 m ²	0 m ²	45,107 m ²												
校舎面積計(立川キャンパス)	— m ²	0 m ²	56,716 m ²	0 m ²	56,716 m ²												
統計数理研究所	— m ²	0 m ²	11,855 m ²	0 m ²	11,855 m ²												
国立極地研究所	— m ²	0 m ²	17,336 m ²	0 m ²	17,336 m ²												
国文学研究資料館	— m ²	0 m ²	13,002 m ²	0 m ²	13,002 m ²												
国立国語研究所	— m ²	0 m ²	14,523 m ²	0 m ²	14,523 m ²												
校舎面積計(相模原キャンパス)	— m ²	0 m ²	33,935 m ²	0 m ²	33,935 m ²												
校舎面積計(三島キャンパス)	— m ²	0 m ²	39,402 m ²	0 m ²	39,402 m ²												
校舎面積計(土岐キャンパス)	— m ²	0 m ²	23,577 m ²	0 m ²	23,577 m ²												
校舎面積計(岡崎キャンパス)	— m ²	0 m ²	46,165 m ²	0 m ²	46,165 m ²												
分子科学研究所	— m ²	0 m ²	13,070 m ²	0 m ²	13,070 m ²												
基礎生物学研究所	— m ²	0 m ²	7,236 m ²	0 m ²	7,236 m ²												
生理科学研究所	— m ²	0 m ²	5,258 m ²	0 m ²	5,258 m ²												
3研究所共用	— m ²	0 m ²	5,437 m ²	0 m ²	5,437 m ²												
3研究所共用(山手)	— m ²	0 m ²	15,164 m ²	0 m ²	15,164 m ²												
校舎面積計(京都市上賀茂キャンパス)	— m ²	0 m ²	11,927 m ²	0 m ²	11,927 m ²												
校舎面積計(京都桂坂キャンパス)	— m ²	0 m ²	17,152 m ²	0 m ²	17,152 m ²												
校舎面積計(吹田キャンパス)	— m ²	0 m ²	52,648 m ²	0 m ²	52,648 m ²												

校舎等	教員研究室	学部・研究科等の名称	室数			
		先端学術院先端学術専攻(葉山キャンパス)	20 室			
		先端学術院先端学術専攻(つくばキャンパス)	288 室			
		先端学術院先端学術専攻(佐倉キャンパス)	31 室			
		先端学術院先端学術専攻(東京一ツ橋キャンパス)	53 室			
		先端学術院先端学術専攻(三鷹キャンパス)	107 室			
		先端学術院先端学術専攻(立川キャンパス)	室			
		統計数理研究所	53 室			
		国立極地研究所	53 室			
		国文学研究資料館	36 室			
		国立国語研究所	29 室			
		先端学術院先端学術専攻(相模原キャンパス)	74 室			
		先端学術院先端学術専攻(三島キャンパス)	87 室			
		先端学術院先端学術専攻(土岐キャンパス)	117 室			
		先端学術院先端学術専攻(岡崎キャンパス)	190 室			
		分子科学研究所	58 室			
		基礎生物学研究所	68 室			
		生理学研究所	64 室			
		先端学術院先端学術専攻(京都市賀茂キャンパス)	15 室			
		先端学術院先端学術専攻(京都桂坂キャンパス)	50 室			
先端学術院先端学術専攻(吹田キャンパス)	45 室					
教室等施設	区分	講義室	演習室	実験演習室	情報処理学習施設	語学学習施設
	葉山キャンパス教室等施設	3 室	0 室	15 室	0 室	0 室
	つくばキャンパス教室等施設	2 室	18 室	77 室	0 室	0 室
	佐倉キャンパス教室等施設	7 室	1 室	14 室	0 室	0 室
	東京一ツ橋キャンパス教室等施設	2 室	3 室	1 室	0 室	0 室
	三鷹キャンパス教室等施設	1 室	0 室	0 室	0 室	0 室
	立川キャンパス教室等施設	16 室	5 室	44 室	0 室	0 室
	統計数理研究所	9 室	0 室	3 室	0 室	0 室
	国立極地研究所	2 室	0 室	41 室	0 室	0 室
	国文学研究資料館	3 室	1 室	0 室	0 室	0 室
	国立国語研究所	2 室	4 室	0 室	0 室	0 室
	相模原キャンパス教室等施設	1 室	0 室	0 室	0 室	0 室
	三島キャンパス教室等施設	4 室	0 室	294 室	0 室	1 室
	土岐キャンパス教室等施設	15 室	0 室	36 室	0 室	0 室
	岡崎キャンパス教室等施設	1 室	33 室	872 室	0 室	0 室
	分子科学研究所	0 室	14 室	296 室	0 室	0 室
	基礎生物学研究所	0 室	10 室	272 室	0 室	0 室
	生理学研究所	1 室	9 室	304 室	0 室	0 室
	京都市賀茂キャンパス教室等施設	8 室	0 室	18 室	0 室	0 室
	京都桂坂キャンパス教室等施設	2 室	6 室	0 室	0 室	0 室
吹田キャンパス教室等施設	1 室	5 室	1 室	0 室	0 室	
図書館・図書資料等	図書館等の名称	面積	閲覧座席数			
	本部図書館	1,189 m ²	31 席			
	国立民族学博物館図書室	5,965 m ²	80 席			
	国際日本文化研究センター図書館	4,830 m ²	49 席			
	国立歴史民俗博物館研究用図書室	2,199 m ²	13 席			
	国文学研究資料館閲覧室	4,199 m ²	79 席			
	国立国語研究所図書室	1,325 m ²	58 席			
	国立情報学研究所図書室	291 m ²	10 席			
	統計数理研究所図書室	998 m ²	34 席			
	高エネルギー加速器研究機構図書室	900 m ²	44 席			
	国立天文台図書室	834 m ²	18 席			
	核融合科学研究所図書室	859 m ²	26 席			
	宇宙科学研究所図書室	860 m ²	29 席			
	自然科学研究機構同時情報図書館	1,513 m ²	92 席			
	総合地球環境学研究所図書室	1,262 m ²	54 席			
	国立極地研究所図書室	940 m ²	32 席			
	国立遺伝学研究所図書室	437 m ²	14 席			
	図書館等の名称	図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕	電子ジャーナル〔うち国外〕		
	本部図書館	47,165 [24,565] 冊	464 [325] 種	5,044 [5,044] 種		
	国立民族学博物館図書室	697,784 [420,606] 冊	17,390 [7,122] 種	3,077 [3,077] 種		
国際日本文化研究センター図書館	611,142 [195,541] 冊	9,554 [2,929] 種	26 [26] 種			
国立歴史民俗博物館研究用図書室	372,378 [14,699] 冊	6,749 [541] 種	4,764 [4,764] 種			
国文学研究資料館閲覧室	428,182 [9,791] 冊	9,578 [418] 種	0 [0] 種			
国立国語研究所図書室	163,953 [33,661] 冊	5,972 [534] 種	84 [82] 種			
国立情報学研究所図書室	25,177 [9,542] 冊	637 [24] 種	762 [621] 種			
統計数理研究所図書室	74,646 [53,607] 冊	2,211 [1,024] 種	93 [93] 種			
高エネルギー加速器研究機構図書室	95,700 [73,037] 冊	1,179 [882] 種	378 [378] 種			
国立天文台図書室	69,547 [50,399] 冊	2,046 [1,675] 種	463 [463] 種			
核融合科学研究所図書室	71,113 [50,878] 冊	1,211 [888] 種	127 [113] 種			
宇宙科学研究所図書室	95,753 [76,288] 冊	1,205 [963] 種	332 [328] 種			
自然科学研究機構同時情報図書館	96,978 [83,620] 冊	1,521 [1,230] 種	158 [158] 種			
総合地球環境学研究所図書室	31,290 [8,396] 冊	718 [254] 種	25 [25] 種			
国立極地研究所図書室	29,169 [18,097] 冊	3,950 [2,977] 種	248 [248] 種			
国立遺伝学研究所図書室	28,828 [25,295] 冊	307 [236] 種	75 [75] 種			
計	2,938,805 [1,148,022] 冊	64,692 [22,022] 種	15,656 [15,495] 種			

体育館	面積	
大学全体	0	m ²
		m ²

[注]

- 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、別科・専攻科、研究所等ごとに記載してください（通信教育課程を含む）。
- 2 教育研究組織の欄に、学部等連携課程（大学設置基準第42条の3の2）を記載する場合には、「学士課程」欄の「学部・学科等の名称」にそのことがわかるよう記載するとともに、備考欄に、①連携する学部や研究科、②どの学部や研究科から何名の教員が当該課程に所属しているか、を明記してください。
- 3 教育研究組織の欄に、専門職学科（大学設置基準第10章）を記載する場合には、「学士課程」欄の「学部・学科等の名称」や「備考欄」にそのことがわかるよう記載してください。
- 4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織や、附置研究所、附属病院等がある場合には、「別科・専攻科等」の欄に記載してください。
- 5 所在地について、2以上の校地において行う場合で当該校地にキャンパス名称があれば、当該所在地の後に「〇〇キャンパス」と記載してください。
- 6 教員組織の欄には、教育研究組織の欄で記載した組織単位で専任教員等及び非常勤教員の数を記入してください。その際、専門職学科等を設置していない場合は「学士課程」、専門職学科等を設置している場合は「学士課程（専門職学科等含む）」の欄を使用してください。
- 7 上記4に記載した、学部教育を担当する独立の組織がある場合には、組織名は、「学部・学科等の名称」の欄に「その他の組織等（〇〇）」と記載し、専任教員等及び非常勤教員の数を記載してください。
なお、その場合は、「基準教（及び「うち教授数）」及び「専任教員一人あたりの在籍学生数」の欄は「—」としてください。
- 8 教員組織の欄に、学部等連携課程（大学設置基準第42条の3の2）に関する記載をする際には、「学士課程」または「学士課程（専門職学科等含む）」の「備考欄」に学部等連携課程としての専任教員数や所属組織等を記入してください。
- 9 専任教員数の記入に際しては、休職、サバディカル制度等により一時的に大学を離れている場合も専任教員に算入してください。ただし、大学設置基準第11条における「授業を担当しない教員」は含めないでください。
- 10 「非常勤教員」の欄には、客員教員や特任教員等で専任の教員は含みません。
- 11 他の学部・学科等に所属する専任の教員であって、当該学部・学科等の授業科目を担当する教員（兼任）は、「非常勤教員」の欄には含めないでください。また、「専任教員等」の各欄にも含めないでください。
- 12 専任教員、研究指導教員及び研究指導補助教員の基準数については、それぞれ以下に定める教員数を記載してください。
 - ・大学設置基準第13条別表第一及び別表第二（備考に規定する事項を含む。）
 - ・大学通信教育設置基準第9条別表第一（備考に規定する事項を含む。）
 - ・大学院設置基準第9条の規定に基づく「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」（平成11年文部省告示第175号）別表第一、別表第二及び別表第三（備考に規定する事項を含む。）
 - ・「専門職大学院に関し必要な事項について定める件」（平成15年文部科学省告示第53号）第1条及び第2条
- 13 「うち実務家専任教員数」の欄については、大学設置基準第42条の6及び「専門職大学院に関し必要な事項について定める件」（平成15年文部科学省告示第53号）第2条に定める実務の経験及び高度の実務の能力を有する専任教員（実務家専任教員）の教員数、「うちみなし専任教員数」の欄については、学士課程（専門職学科等含む）においては1年につき6単位以上、専門職学位課程においては1年につき4単位以上の授業科目を担当し、教育課程の編成その他組織の運営に責任を担う専任教員以外の者（みなし専任教員）の教員数を記入してください。
- 14 「学士課程（専門職学科等含む）」のうち、「〇〇学部〇〇専門職学科」以外の学科・課程においては、「うち実務家教員数」、「うち2項該当教」、「うちみなし専任教員数」の欄は「—」としてください。
- 15 「学士課程」のうち、薬学関係（臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの）の学部・学科等については、「専任教員等」欄に記入した専任教員のうちの実務家専任教員の数を「備考欄」に記入してください。
実務家専任教員中にみなし専任教員がいる場合は、さらにその内数を実務家専任教員の数に（ ）で添えて記入してください。
なお、ここにいう「実務家専任教員」及び「みなし専任教員」については、それぞれ「大学設置基準別表第一備考第九号の規定に基づき薬学関係（臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの）の学部に係る専任教員について定める件」（平成16年文部科学省告示第175号）第1項及び同第2項に定める教員を指します。
- 16 「専任教員1人あたりの在籍学生数」の欄には、様式2の在籍学生数/本表の専任教員数計により、算出してください。
- 17 「校舎敷地面積」、「運動場用地」の欄は、大学設置基準上算入できるものを合めてください。
- 18 寄宿舎その他大学の附属病院以外の附属施設（大学設置基準第39条第1項を参照）用地、附置研究所用地、駐車場、大学生協用地など大学設置基準上「校地」に算入できない面積は「校地等」の「その他」の欄に記入してください。
- 19 「校舎面積計」の欄は、学校基本調査の学校施設調査票（様式第20号）における学校建物の用途別面積の「校舎」の面積の合計としてください。
- 20 校地面積、校舎面積の「専用」の欄には、当該大学が専用で使用する面積を記入してください。「共用」の欄には、当該大学が他の学校等と共用する面積を記入してください。「共用する他の学校等の専用」の欄には、当該大学の敷地を共用する他の学校等が専用で使用する敷地面積を記入してください。
- 21 「基準面積」の欄は、大学設置基準第37条における「大学における校地」の面積（附属病院以外の附属施設用地及び寄宿舎の面積を除く。）または大学通信教育設置基準第10条の校舎等の施設の面積としてください。
- 22 「教員研究室」の欄は、専任教員数に算入していない教員の実験室は記入する必要はありません。なお、複数の助教等が共同して1室で執務する場合は、教員数を室数に換算してください。

認証評価共通基礎データ様式【改正前基準】【大学(専門職大学含む)用】様式2(令和7年5月1日現在)

研究科名	専攻名	項目	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	入学定員に対する平均比率	備考
先端学術院	5年先端学術専攻	志願者数	208	174	114	-	-	133%	先端学術院先端学術専攻は、令和5年度に設置されたため、令和5年度以降の数値を記載。
		合格者数	124	105	62	-	-		
		入学者数(A)	96	82	53	-	-		
		入学定員(B)	58	58	58	-	-		
		入学定員充足率(A/B)	166%	141%	91%	-	-		
		在籍学生数(C)	204	135	53	-	-		
		収容定員(D)	174	116	58	-	-		
	収容定員充足率(C/D)	117%	116%	91%	-	-			
	博士先端学術専攻	志願者数	110	89	87	-	-	92%	
		合格者数	78	64	49	-	-		
		入学者数(E)	68	57	47	-	-		
		入学定員(F)	62	62	62	-	-		
		入学定員充足率(E/F)	110%	92%	76%	-	-		
		在籍学生数(G)	149	103	47	-	-		
収容定員(H)		186	124	62	-	-			
収容定員充足率(G/H)	80%	83%	76%	-	-				
先端学術院 合計	志願者数	318	263	201	0	0	112%		
	合格者数	202	169	111	0	0			
	入学者数(I)	164	139	100	0	0			
	入学定員(J)	120	120	120	0	0			
	入学定員充足率(I/J)	137%	116%	83%	-	-			
	在籍学生数(K)	353	238	100	0	0			
	収容定員(L)	360	240	120	0	0			
	収容定員充足率(K/L)	98%	99%	83%	-	-			

[注]

- 1 学生を募集している学部・学科(課程)、研究科・専攻、専攻科・別科等ごとに行を追加して作成してください。
なお、学部・学科等を追加する場合は、直下に追加しないと集計値がずれてしまうので、注意して下さい。
- 2 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
- 3 学部、学科の改組等により、新旧の学部、学科が併存している場合には、新旧両方を併記し、「備考」に記載してください。
- 4 学部・学科、研究科・専攻等が完成年度に達していない場合、その旨を備考に記載してください。
- 5 募集定員が若干名の場合は、「0」と記載し、入学者数については実入学者数を記載してください。
- 6 入学定員充足率は、入学定員に対する入学者の割合、収容定員充足率は、収容定員に対する在籍学生数の割合としてください。
- 7 入学定員に対する平均比率は、過去5年分の入学定員に対する入学者の比率を平均したものが自動計算されます。
- 8 最新年度の秋入学については別途確認します。
- 9 編入学の定員を設定している場合、上の表(〈編入学〉の表ではない方)の入学定員には、編入学の定員を加えないでください。
- 10 博士前期課程を看護課程として、博士後期課程を医学課程としている博士課程については、博士前期課程と博士後期課程にそれぞれ分けて記入してください。